

# セットアップガイド（VMS編）

NEC Expressサーバ  
Express5800シリーズ

## Express5800/T110m-S 映像アプリケーションスベースモデル

## 目次




目次 .....	i
<b>第1章. はじめに .....</b>	<b>1</b>
1.1 本書の表記規則 .....	1
1.2 対象読者と目的 .....	1
<b>第2章. ビデオマネジメントシステムを構築する .....</b>	<b>2</b>
2.1 システム構成 .....	2
2.1.1 システムの概要 .....	2
2.1.2 システムの設定 .....	3
2.2 ビデオマネジメントシステムの機能 .....	3
2.2.1 Management Client .....	3
2.2.2 Smart Client .....	6
2.2.3 Web Client .....	8
2.2.4 Mobile Client .....	10
2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ .....	12
2.3.1 ストレージのセットアップ .....	12
2.3.2 録画用カメラのセットアップ .....	14
2.4 ライセンスアクティベーション .....	19
2.4.1 自動ライセンスアクティベーション .....	20
2.4.2 手動アクティベーション（オンラインアクティベーション） .....	23
2.4.3 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestone アカウント を使用する場合） .....	26
2.4.4 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestone アカウント を使用しない場合） .....	30
2.5 ビデオマネジメントシステムの各種設定 .....	32
2.5.1 録画用カメラの詳細設定 .....	32
2.5.2 録画のルール設定 .....	35
2.6 Smart Client .....	39
2.6.1 ライブビュー .....	39
2.6.2 再生 .....	44
2.6.3 検索 .....	45
2.6.4 アラームマネージャ .....	47
<b>第3章. 免責・法的通知 .....</b>	<b>48</b>
3.1 免責事項 .....	48
3.2 商標情報 .....	49
3.3 ライセンス通知 .....	50
<b>第4章. 改版履歴 .....</b>	<b>72</b>
<b>付録1. 付録の説明 .....</b>	<b>73</b>

付録 2.	VMS を追加インストールする.....	74
付録 3.	VMS のビデオプッシュ機能を使う .....	77
付録 4.	VMS のカメラ交換をする .....	81
付録 5.	VMS のコンピュータ名変更を行う .....	84
付録 6.	VMS のネットワークドライブヘアーカイズ設定をする .....	87
付録 7.	VMS のライセンスの再アクティベーションをする .....	93
付 7.1	OS 再インストール前に 2.4.1 または 2.4.2 の手順でライセンスアクティベーションを実施した場合 .....	93
付 7.2	OS 再インストール前に 2.4.3 または 2.4.4 の手順でライセンスアクティベーションを実施した場合 .....	94

# 第1章. はじめに

## 1.1 本書の表記規則

本書では安全にかかわる注意記号のほかに 3 種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、 <u>重大な不具合が起きるおそれがあります。</u>
	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

## 1.2 対象読者と目的

本書『セットアップガイド (VMS 編)』は、映像アプライアンスサーバセットアップガイド (ハードウェア編) の別冊にあたります。

ビデオマネジメントシステムの導入、設置、構築を行うユーザを対象に、映像アプライアンスサーバの初期セットアップ完了後の VMS ライセンスのアクティベーション、セットアップ、各種設定を記載します。

## 第2章. ビデオマネジメントシステムを構築する

ビデオマネジメントソフトウェアインストール後のシステム構築について記載します。

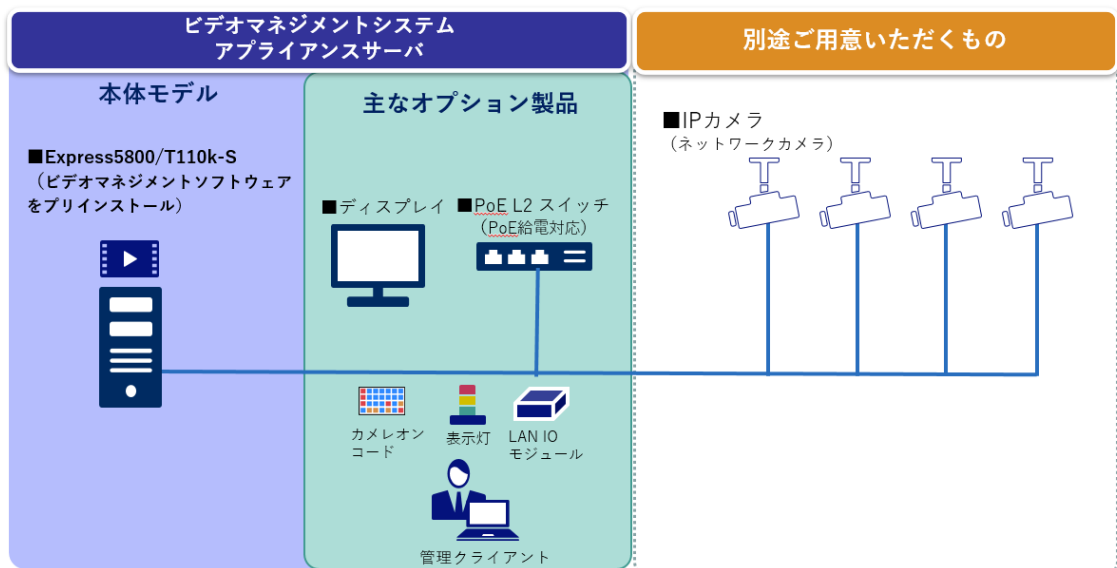
ビデオマネジメントソフトウェアの詳しい使用法は、EXPRESSBUILDER に格納されている「VMS ユーザーマニュアル」および「VMS 管理者マニュアル」をご覧ください。

### 2.1 システム構成

#### 2.1.1 システムの概要

システム構成について記載します。本製品とネットワークカメラを下記のようなネットワーク（以降、ビデオマネジメントネットワークと呼ぶ）で接続し、ビデオマネジメントシステムを構成します。

ネットワークカメラの使用可能台数は下記のとおりです。また別途顔認証オプションや FieldAnalyst オプションを導入することにより、顔認証システムの機能や FieldAnalyst の機能もご利用いただけます。



- ビデオマネジメントネットワーク(図の例では LAN2~6)には、カメラ(\*1)と本製品がサポートするオプション製品(\*2) のみを接続してください。
- カメラの設置、LAN ケーブル敷設については、必要に応じてお客様にてご手配ください。
- ビデオマネジメントネットワークと外部ネットワーク間はルーティングしないでください。
- 本装置で使用するディスプレイの解像度は、SXGA(1280x1024)以上が推奨です。

(\*1): Milestone Xprotect サポートカメラからお選びください。

<https://www.milestonesys.com/support/>

(\*2): 詳しくは構成ガイドを参照してください。

### 2.1.2 システムの設定

ビデオマネジメントシステムで使用するためのカメラやビデオマネジメントソフトウェアの初期設定方法は、本書「2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ」をご覧ください。

詳細な設定については、「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。



本装置でプロキシサーバーの設定を行う場合は、ビデオマネジメントネットワーク用のネットワークアドレスを「例外」に追加してください。

## 2.2 ビデオマネジメントシステムの機能

ビデオマネジメントシステムを運用するためのソフトウェアとその起動方法について説明します。

ビデオマネジメントシステムでは、管理ツール Milestone XProtect Management Client(以下 Management Client)と録画再生ビューアーXProtect Smart Client(以下 Smart Client)を主に使用します。

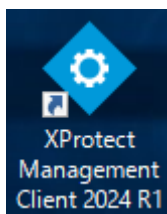
この他、Web ブラウザ上でライブ映像・録画再生表示可能な Web Client、スマートフォン・タブレットでライブ映像や録画再生表示、内蔵カメラによる録画が可能な Mobile Client が使用できます。

### 2.2.1 Management Client

Management Client は、録画用のカメラやストレージの設定、ユーザー管理など、ビデオマネジメントシステムの各種機能を設定するソフトウェアです。

Management Client の起動方法は、次の通りです。

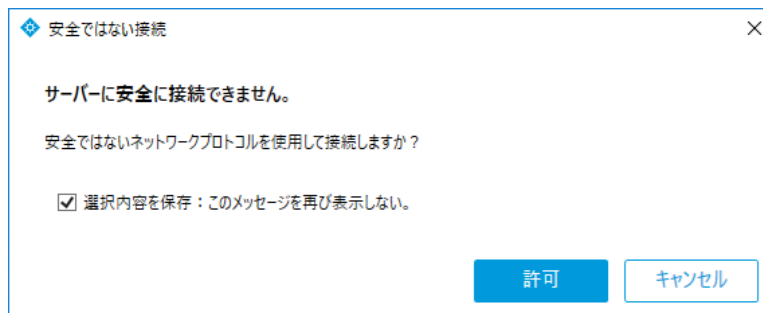
- (1) デスクトップから「XProtect Management Client」を実行します。



- (2) Management Client のログイン画面が表示されます。



- (3) Administratorアカウントでログインしている場合はそのまま[サインイン]ボタンをクリックします。  
次の画面が表示されるので「選択内容を保存：このメッセージを再び表示しない」をチェックし、  
「許可」をクリックします。



※環境によってログイン方式が異なります。他アカウントやクライアント PC からログインする場合は次ページの表を参照してください。

以下のように項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

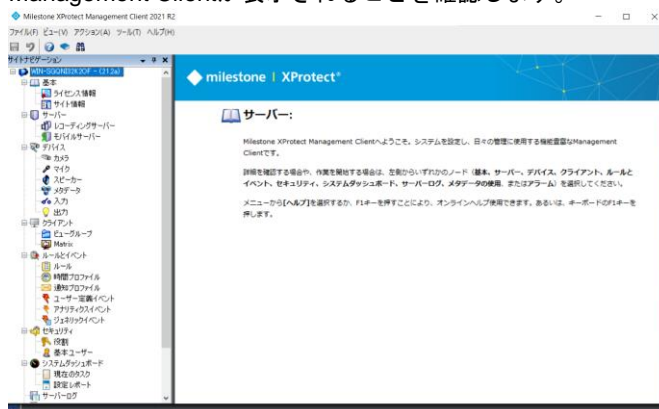
	映像アプライアンスベースモデル (Administrator アカウントでログイン)	クライアント PC
コンピューター	localhost または 映像アプライアンスベースモデルの IP アドレス	映像アプライアンスベースモデルの IP アドレス
認証	①Windows authentication (current user)	①Windows authentication
	②Windows authentication	
	③Basic authentication	②Basic authentication
ユーザー名/ パスワード	①Windows authentication (current user) ⇒設定不要	①Windows authentication ⇒映像アプライアンスベースモデルの Administrator / パスワード ※1
	②Windows authentication ⇒※2 個別に設定した Windows アカウント / パスワード	または ※2 個別に設定した Windows アカウント / パスワード
	③Basic authentication ⇒※2 個別に作成した 基本ユーザー名 / パスワード	②Basic authentication ⇒※2 個別に作成した 基本ユーザー名 / パスワード
パスワード保存	パスワードを保存する場合はチェック	
自動ログイン	次回から自動ログインにする場合はチェック	

※1 ドメインが異なる場合は、/¥Administrator のように先頭に/¥をつけるとログインできる場合があります。

※2 ログインするための設定、権限を事前に Management Client で設定する必要があります。

詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

#### (4) Management Clientが表示されることを確認します。

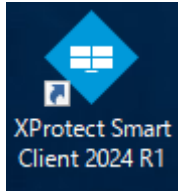


### 2.2.2 Smart Client

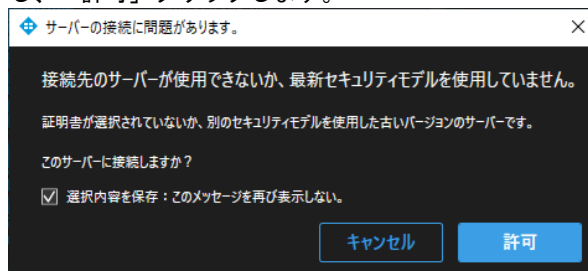
Smart Client は、カメラのライブビューや録画再生、録画データのエクスポートなどを行うソフトウェアです。

Smart Client の起動方法は、次の通りです。

- (1) デスクトップの「XProtect Smart Client 2024 R1」を実行します。



次の画面が表示された場合は「選択内容を保存：このメッセージを再び表示しない」をチェックし、「許可」をクリックします。



- (2) 環境によってログイン方式が異なります。

以下のように項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

	映像アプライアンスベースモデル (Administrator アカウントでログイン)	クライアント PC
コンピューター	localhost または 映像アプライアンスベースモデルの IP アドレス	映像アプライアンスベースモデルの IP アドレス
認証	①Windows authentication (current user)	①Windows authentication
	②Windows authentication	
	③Basic authentication	②Basic authentication
ユーザー名/ パスワード	①Windows authentication (current user) ⇒設定不要	①Windows authentication ⇒映像アプライアンスベースモデルの Administrator / パスワード ※1
	②Windows authentication ⇒※2 個別に設定した Windows アカウント / パスワード	または ※2 個別に設定した Windows アカウント / パスワード
	③Basic authentication ⇒※2 個別に作成した 基本ユーザー名 / パスワード	②Basic authentication ⇒※2 個別に作成した 基本ユーザー名 / パスワード

パスワード保存	パスワードを保存する場合はチェック
自動ログイン	次回から自動ログインにする場合はチェック

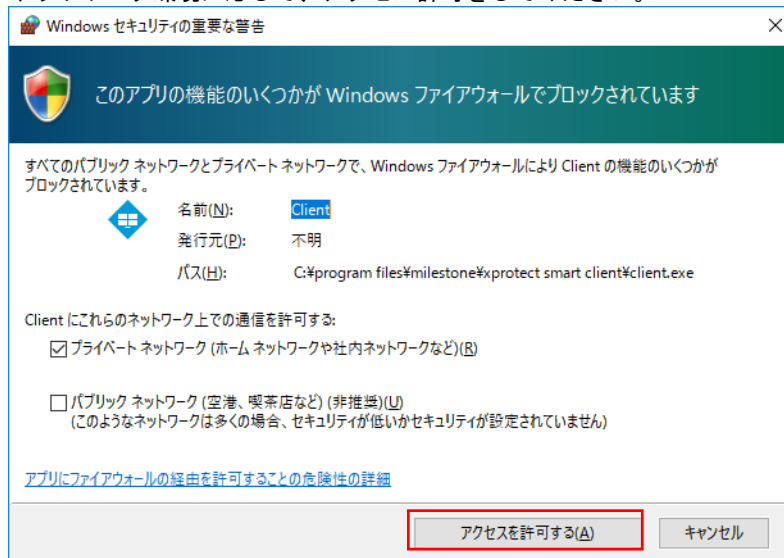
※1 ドメインが異なる場合は、/¥Administrator のように先頭に¥をつけるとログインできる場合があります。

※2 ログインするための設定、権限を事前に Management Client で設定する必要があります。

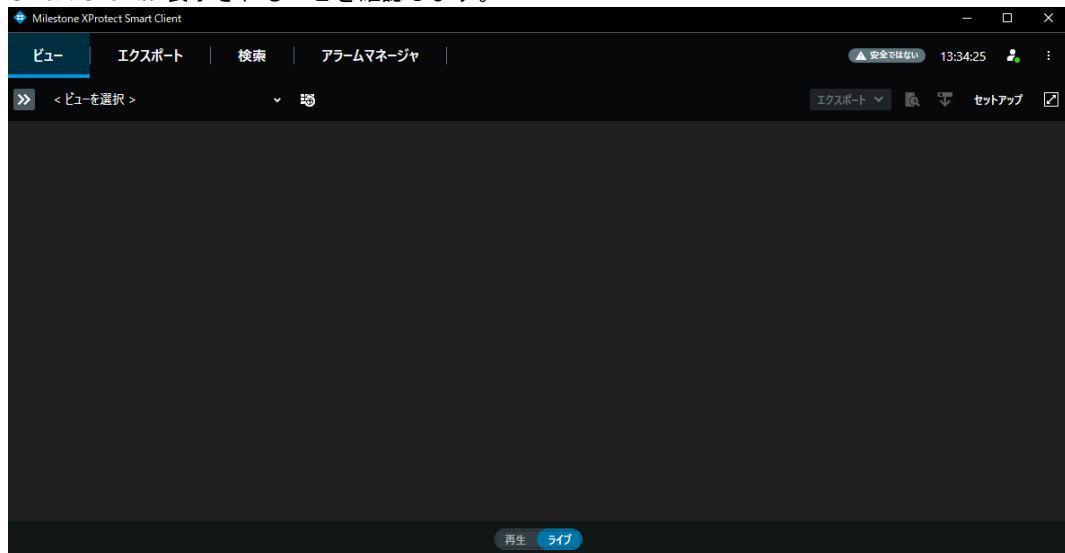
詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

- (3) 初回起動時は、ファイアウォールに関するメッセージが表示されます。

ネットワーク環境に応じて、アクセス許可をしてください。



- (4) Smart Clientが表示されることを確認します。



[http://\[映像アプライアンススペースモデルの IP アドレス\]/installation/](http://[映像アプライアンススペースモデルの IP アドレス]/installation/)

にアクセスすることで、Smart Client(64bit 版)を直接ダウンロードすることが可能です。  
※上記にアクセスしても何も表示されない場合は、映像アプライアンススペースモデルの IP アドレスを信頼済みサイトに設定する必要があります。

### 2.2.3 Web Client

Web Client はシンプルなウェブベースのクライアントアプリケーションです。

Web ブラウザ上でライブ映像の視聴、録画映像の再生などが可能です。

ここでは Web Client のログイン方法を説明します。

- (1) Web ブラウザ上で以下の URL にアクセスします。

- http 接続の場合  
`http:// [映像アプライアンススペースモデルの IP アドレス]:8081`

- https 接続の場合

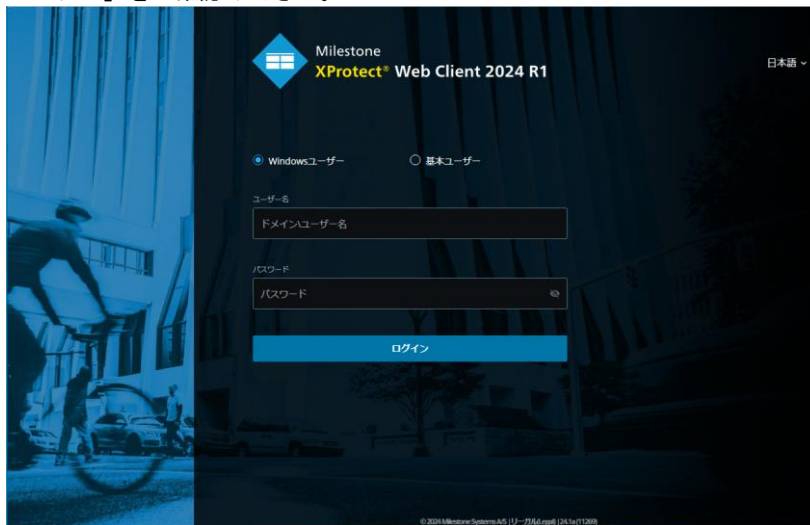
https:// [映像アプライアンスベースモデルの IP アドレス]:8082



インターネットや外部ネットワークから Web Client へ接続する際には https 接続を推奨します。https 接続を使用するためには SSL サーバー証明書が必要です。  
詳細な接続設定については[VMS 管理者マニュアル]を参照してください。

- (2) ログイン権限を持つユーザーアカウントのユーザー名、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

※Administrator 以外の Windows ユーザーもしくは基本ユーザーでログインする場合、ログインするための設定、権限を事前に Management Client で設定する必要があります。詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。



- (3) [ビュー]タブをクリックし、ビューまたはカメラから映像表示したい対象を選択するとライブ映像が表示されます。



ビューまたはカメラ選択後、画面下部の[再生]を選択すると録画再生に切り替わります。



## 2.2.4 Mobile Client

Mobile Client はスマートフォン上で動作するクライアントアプリケーションです。

ライブ映像の視聴、録画再生だけでなく、スマートフォン・タブレットのカメラを使った録画が可能です (ビデオプッシュ機能)。Mobile Client (XProtect Mobile)は Google Play, App Store から無償でダウンロードできます。

ここでは Mobile Client のログイン方法を説明します。

※アプリケーションのバージョンやスマートフォンの OS により画面が異なる場合があります。

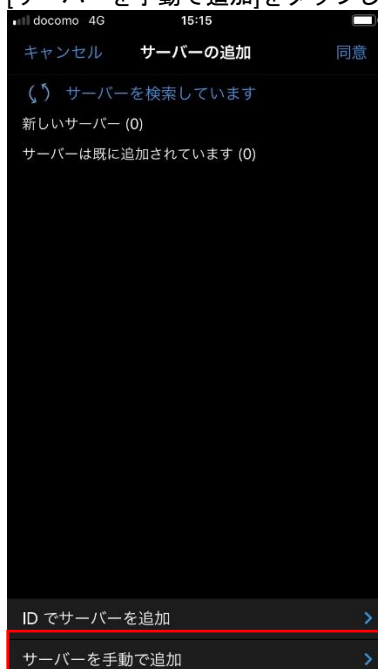


インターネットや外部ネットワークから Mobile Client へ接続する際には **https 接続を推奨**します。https 接続を使用するためには SSL サーバー証明書が必要です。  
 手順 4 の画面で[安全な接続]を有効にすると https 接続になります。  
 詳細な接続設定については[VMS 管理者マニュアル]を参照してください。

- (1) スマートフォン上にインストールされた XProtect Mobile を起動します。
- (2) [サーバーの追加]をタップします。



- (3) [サーバーを手動で追加]をタップします。



- (4) [サーバー名]欄に任意のサーバー名を、[アドレス]欄にサーバーの IP アドレスを入力し、[Protocol]欄から「http://」を選択し「ログインを続ける」ボタンをタップします。

キャンセル    サーバーを追加

サーバー名  
Server

アドレス  
必須

Protocol    ポート番号  
http://    8081

ログインを続ける

保存して後でログインする

- (5) ログイン権限を持つユーザーアカウントのユーザー名、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。「ログイン」ボタンのクリック後、ログインが完了するか確認します。

※Administrator 以外の Windows ユーザーもしくは基本ユーザーでログインする場合、ログインするための設定、権限を事前に Management Client で設定する必要があります。詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

< Back    ログイン

Windows ユーザー    基本ユーザー

ユーザー名

基本ユーザー

パスワード

情報を記憶する    ☒

ログイン

パスワードを変更

## 2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ

ビデオマネジメントシステムのセットアップは、Management Client 上で実施します。

「2.3.1 ストレージのセットアップ」から順番に設定を実施してください。

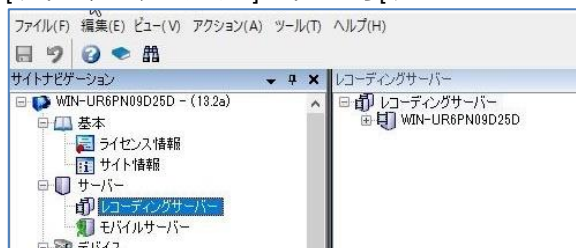


録画に使用するカメラの選定・カメラの取付工事、IP アドレス設定などはあらかじめ実施しておく必要があります。

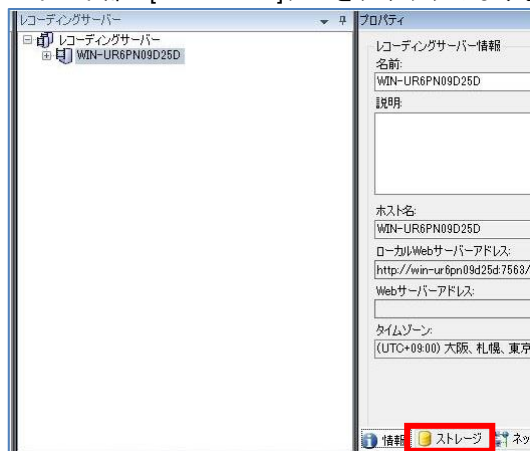
### 2.3.1 ストレージのセットアップ

ここでは、ビデオマネジメントシステムで使用するストレージ容量の設定を行います。

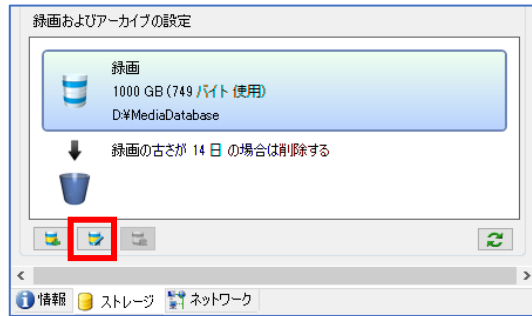
- (1) Management Client を起動します。
- (2) [サイトナビゲーション]ペインから[サーバー - レコーディングサーバー]をクリックします。



- (3) [レコーディングサーバー]ペインからコンピューター名をクリックし、右側に表示された[プロパティ]ペイン下部の[ストレージ]タブをクリックします。



- (4) [録画およびアーカイブの設定]の[レコーディングストレージの編集]ボタンをクリックします。



- (5) 保持期間、最大サイズを入力します。

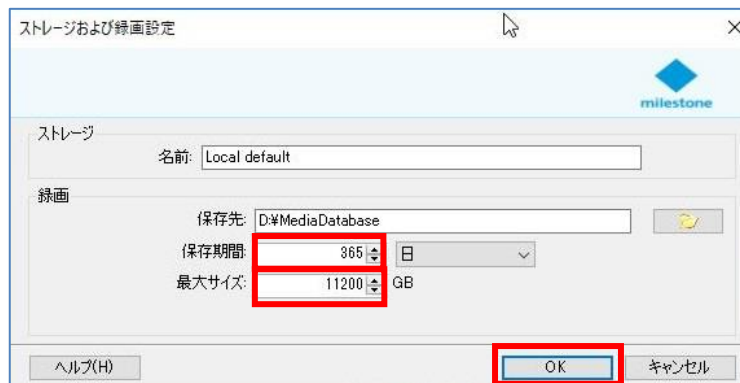
設定後、[OK]をクリックします。

保持期間は録画データの最大保持期間です。

14 日に設定した場合、録画データが 14 日間保持された後に自動的に消去されます。

最大サイズは搭載 HDD によって以下を入力します。

	2.5inch HDD 搭載なし	2.5inch HDD 搭載
3.5inch 2TB HDD 搭載	1742GB	1862GB
3.5inch 4TB HDD 搭載	3604GB	3724GB
3.5inch 6TB HDD 搭載	5471GB	5589GB
3.5inch 8TB HDD 搭載	7328GB	7448GB
3.5inch 12TB HDD 搭載	11055GB	11175GB
3.5inch 18TB HDD 搭載	16655GB	16764GB

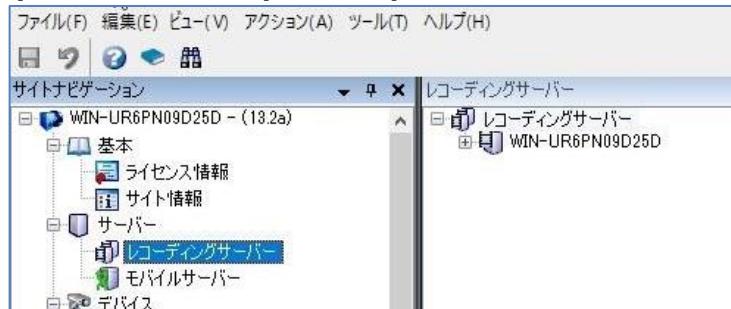


### 2.3.2 録画用カメラのセットアップ

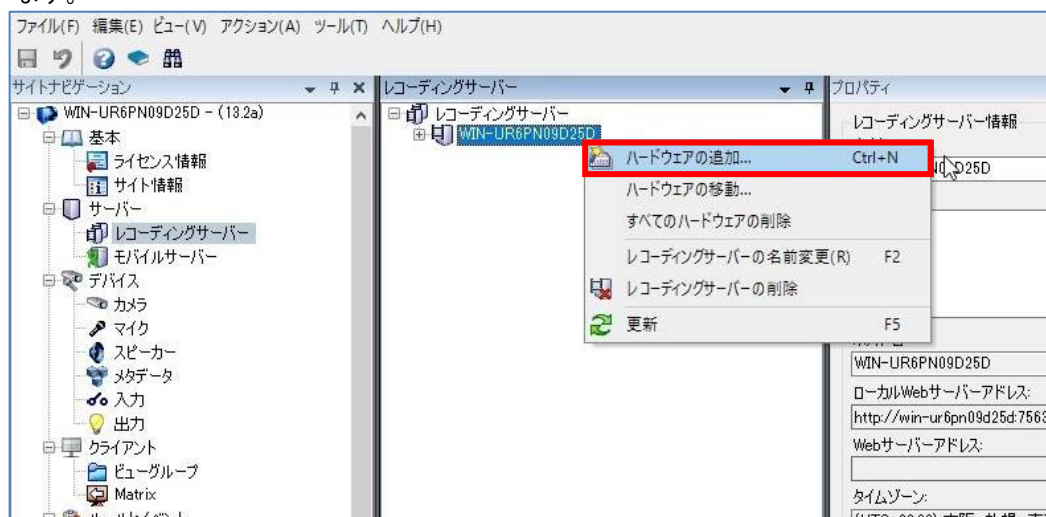
ビデオマネジメントシステムを利用するには、接続する録画用カメラのセットアップを行う必要があります。

ここでは、録画用カメラをセットアップする方法を説明します。

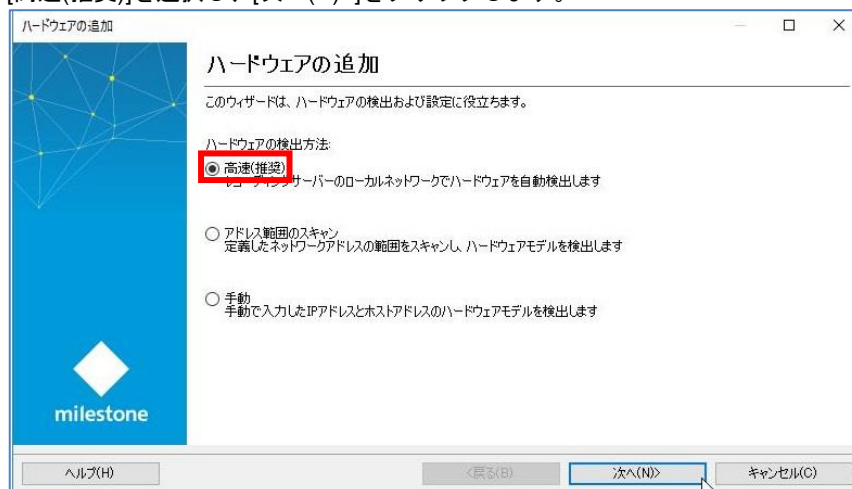
- (1) Management Client を起動します。
- (2) [サイトナビゲーション]ペインから[サーバー - レコーディングサーバー]をクリックします。



- (3) [レコーディングサーバー]ペインからコンピューター名を右クリックし[ハードウェアの追加]を選択します。



- (4) [高速(推奨)]を選択し、[次へ(N)>]をクリックします。



- (5) [追加(A)]をクリックすると、空白の行が追加されます。この列に、接続されているカメラで使用するユーザー名、パスワードを入力します。カメラごとに異なったユーザー名、パスワードを使用する場合はさらに[追加(A)]をクリックし、ユーザー名、パスワードを入力します。すべてのユーザー名、パスワードを追加後、[次へ(N)>]をクリックします

ハードウェアの追加

デバイスでデフォルトのユーザー名とパスワードを使用しない場合、ユーザー名とパスワードを指定します。

含め	ユーザー名	パスワード
<input checked="" type="checkbox"/>	(工場出荷時のデフォルト)	*****
<input checked="" type="checkbox"/>	admin	*****
<input checked="" type="checkbox"/>	root	*****

追加(A) 削除(R)

ヘルプ(H) <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

- (6) カメラが自動的に検出されます。[停止]ボタンがグレースアウトするまでお待ちください。

ハードウェアの追加

システムが各ハードウェアに接続し、デバイス固有の情報を収集するまでお待ちください。  
正常に収集されたハードウェアが追加されます。

収集されたハードウェア情報:

アドレス	ポート	ハードウェアモデル	ステータス
192.168.192.22	80	Canon VB-H730F	成功
192.168.192.4	80	AXIS Q1615 Mk II Network Camera	実行中

ヘルプ(H) <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

- (7) ステータス列がすべて[✓ 成功]となっていることを確認し、[次へ(N)>]をクリックします。

ハードウェアの追加

システムが各ハードウェアに接続し、デバイス固有の情報を収集するまでお待ちください。  
正常に収集されたハードウェアが追加されます。

収集されたハードウェア情報:

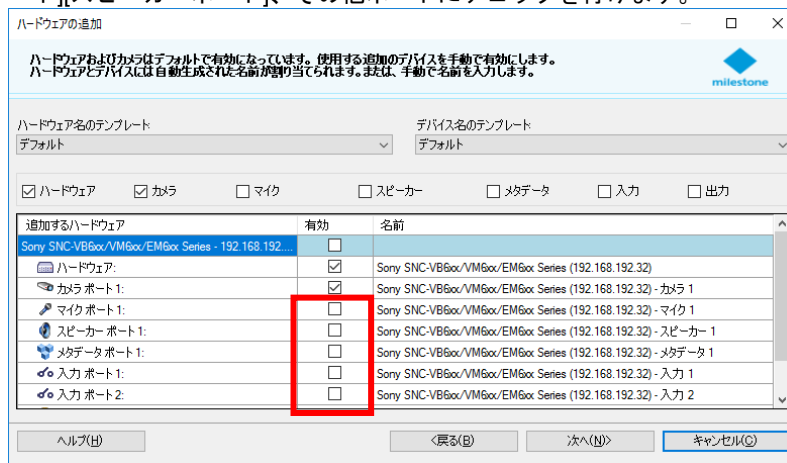
アドレス	ポート	ハードウェアモデル	ステータス
192.168.192.22	80	Canon VB-H730F	成功
192.168.192.4	80	AXIS Q1615 Mk II Network Camera	成功

ヘルプ(H) <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

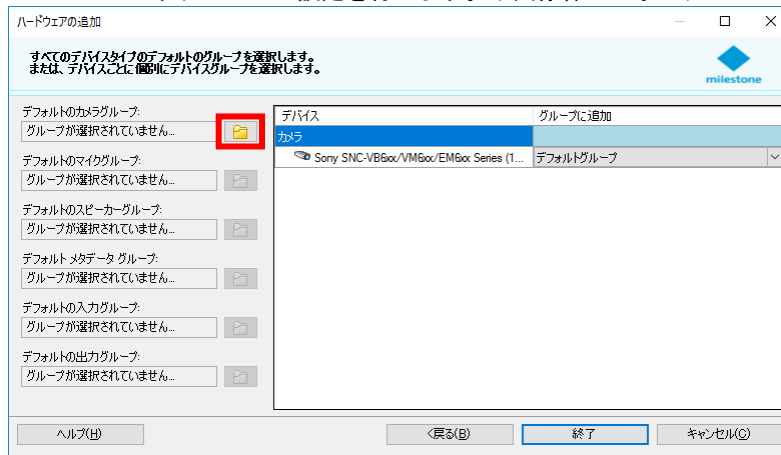
- (8) 使用しない[カメラポート]の[有効]列のチェックを外し、[次へ(N)>]をクリックします。

※マルチストリーム機能を使用しない場合、カメラポート 1 以外は使用しません。

※カメラに接続した(または内蔵の)マイクやスピーカー、その他の機能を使用する場合は[マイクポート][スピーカーポート]、その他ポートにチェックを付けます。



- (9) ここではカメラグループの設定を行います。下図赤枠のフォルダマークをクリックします。

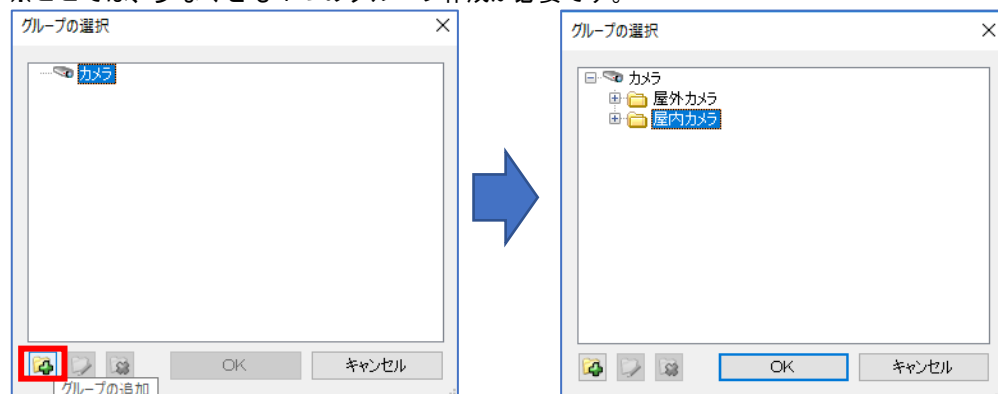


- (10) [グループの追加]をクリックし、任意の名前のグループを作成します。

グループを作成することで、グループ内のカメラに対し一括設定・管理が可能になります。

デフォルトでカメラに設定するグループを選択し、[OK]をクリックします。

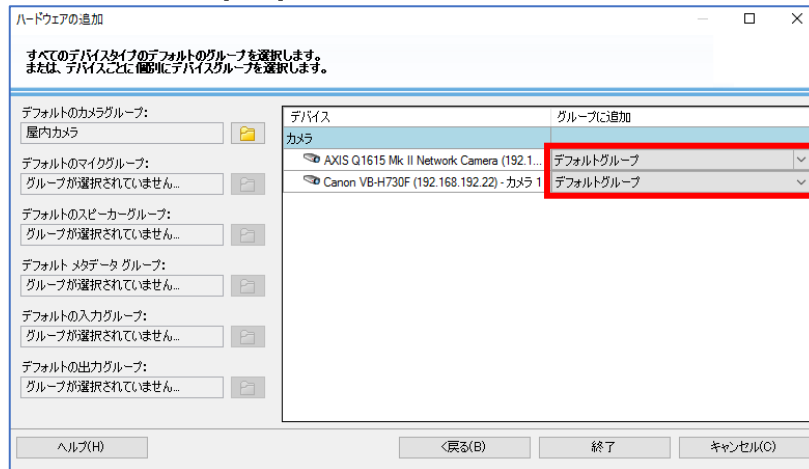
※ここでは、少なくとも 1 つのグループ作成が必要です。



(11) 各カメラに対して、どのグループに追加するか選択します。

初期値はデフォルトグループ(手順 10 で選んだグループ)になっています。

グループの設定後、[終了]をクリックすることで録画用カメラのセットアップが完了します。



カメラ機種によっては、本項の手順で検出されない場合があります。  
検出されない場合は、次ページの手順をお試しください。



1. 本項の手順4で、[手動]を選択し、手順5を実施します。
2. (a) カメラのベンダー名やカメラ機種が判明している場合、[全てをクリア(C)]をクリックし、接続するカメラのベンダー名にチェックを入れます。カメラ機種が判明している場合、ベンダー名左の+マークからさらに展開し、該当する機種のみチェックを入れます。  
チェック後、[次へ(N)>]をクリックします。

(b) カメラのベンダー名やカメラ機種が判明していない場合、全て選択されたままの状態[次へ(N)>]をクリックします。

3. 接続する録画用カメラのIPアドレスを入力し、ハードウェアモデルを選択後、[次へ(N)>]をクリックします。  
上記手順2(b)の場合、ハードウェアモデルは[(自動検出)]のまま[次へ(N)>]をクリックします。

アドレス	ポート	ハードウェアモデル
192.168.192.22	80	Canon VB-M600/M700/H610/H710

4. 本項の手順6～11を実施し、録画用カメラのセットアップを完了します。

## 2.4 ライセンスアクティベーション

ビデオマネジメントソフトウェア XProtect ではカメラ等のハードウェアデバイスを追加、または交換<sup>※1</sup>した後、30 日以内に以下のいずれかの方法でライセンスアクティベーション(有効化)を行う必要があります。30 日以内にアクティベーションしない場合は、アクティベーションするまでハードウェアデバイスが使用できなくなります。全てのカメラを XProtect に登録後、2.4.1~2.4.4 のいずれかの方法でライセンスアクティベーションを実施してください。

### ➤ 本装置がインターネット接続可能な場合

#### ◇ **【推奨】** 2.4.1 自動ライセンスアクティベーション

- 本装置をインターネットに常時接続する場合はこの手順を実施します。
- ハードウェアデバイスを追加、削除、交換時に自動的にアクティベーションが行われます。
- My Milestone<sup>※2</sup> アカウントの作成が必要です。

#### ◇ 2.4.2 手動アクティベーション（オンラインアクティベーション）

- アクティベーション時のみ本装置をインターネット接続する場合にはこの手順を実施します。
- My Milestone<sup>※2</sup> アカウントの作成が必要です。

### ➤ 本装置がインターネット接続されない場合

#### ◇ **【推奨】** 2.4.3 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestone アカウントを使用する場合）

- 本装置がインターネットに接続されていない場合の認証方法です。
- 別途、ポータブルストレージデバイス、電子メール送受信が可能な機器が必要です。
- My Milestone<sup>※2</sup> アカウントの作成が必要です。

#### ◇ 2.4.4 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestone アカウントを使用しない場合）

- 本装置がインターネットに接続されていない場合の認証方法です。
- 別途、ポータブルストレージデバイス、電子メール送受信が可能な機器が必要です。
- My Milestone<sup>※2</sup> アカウントの作成は不要です。



※1 数台の交換の場合はアクティベーション不要な場合があります。  
詳細は VMS 管理者マニュアルをご確認ください。

※2 My Milestone とは、Milestone 社のアカウントサービスです。  
My Milestone アカウントを登録することで XProtect の最新情報入手や様々なサービスを受けることができますようになります。



「C:\NEC\License」にライセンスファイルが格納されています。  
OS 再インストール時に必要となりますので外部機器にバックアップされることを推奨します。

### 2.4.1 自動ライセンスアクティベーション

自動ライセンスアクティベーションの設定を行うことで、自動的にアクティベーション処理が実行されます。

本装置がインターネットに接続されている必要があります。

本手順ではライセンス管理権限を持つ My Milestone のアカウントを作成後、アクティベーション処理を行います。

#### (1) My Milestone アカウントの作成

※すでに My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

Milestone 社の Web ページ「<https://www.milestonesys.com/ja/my-milestone>」にアクセスし、My Milestone アカウントを作成します。

#### (2) ライセンス管理権限の付与

※すでにライセンス管理権限を持つ My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

下記様式の電子メールにてライセンス管理権限の付与依頼をしてください。

依頼メールが弊社に到着後、平日営業日 5 日以内に電子メールにて対応致します。

メール件名 : [依頼][VMS]ライセンス管理権限の付与依頼

送付先 E-mail : [iot-edge-license@itpf.jp.nec.com](mailto:iot-edge-license@itpf.jp.nec.com)

本文内容…必ず下記項目をご記入ください。

装置型番 :

装置シリアルナンバー :

お客様社名/所属 :

お客様ご担当者名 :

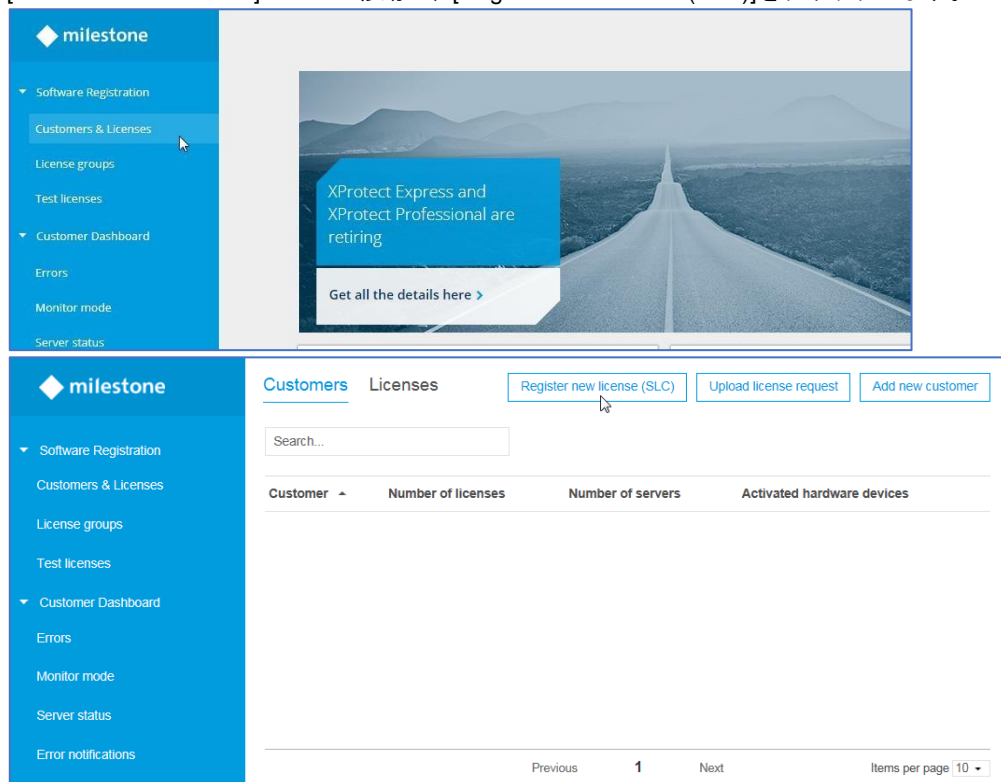
連絡先電話番号 :

My Milestone アカウントのユーザー名（登録時に使用したメールアドレス）

※メールアドレスはお間違いの無いようにご確認の上、送付してください。

**(3) Milestone Customer Dashboard へのソフトウェアライセンスコードの登録**

1. Milestone Customer Dashboard 「<https://online.milestonesys.com>」に My Milestone アカウントでログインします。
2. [Customers & Licenses]ページに移動し、[Register new license (SLC)]をクリックします。



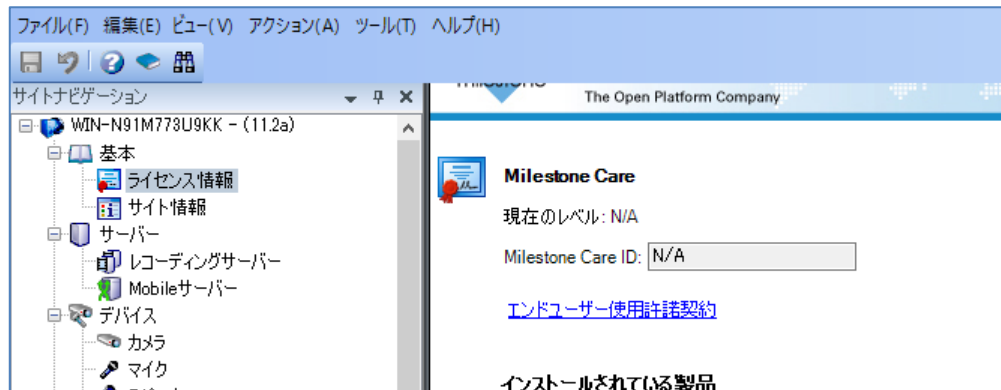
3. 以下の情報を入力後、[OK]をクリックします。  
 Software license code : Mxx-xxx-xxx-xx-xxxxx※1  
 Customer : 任意の名前(会社名等)※2  
 License description (optional) : 装置型番 (例: N8100-3002)  
   装置シリアルナンバー (例: 7600000)

※1 Software license code は Management Client のサイトナビゲーションペインにて[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択することで確認できます。

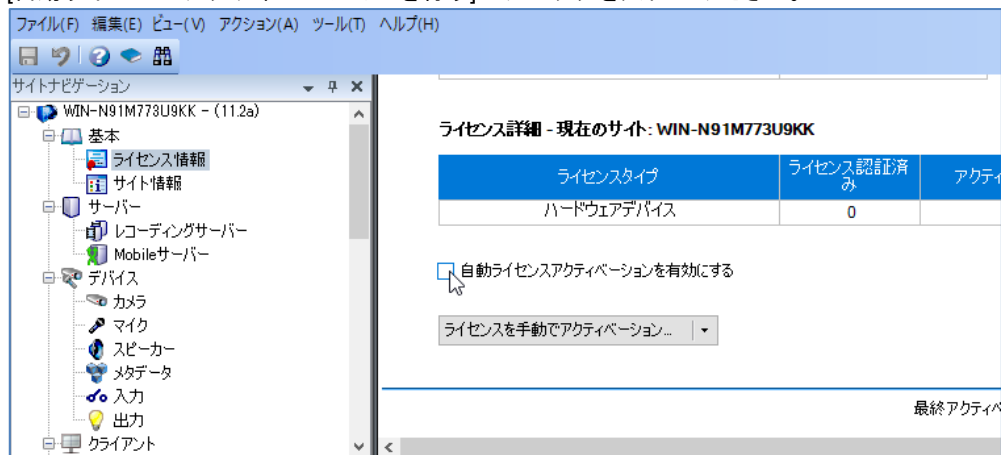
※2 選択可能な Customer が存在しない場合は[Add new customer]をクリックし、任意の Customer を作成してください。

**(4) 自動ライセンスアクティベーションの設定**

1. Management Client を起動します。
2. Management Client のサイトナビゲーションペインにて[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択します。

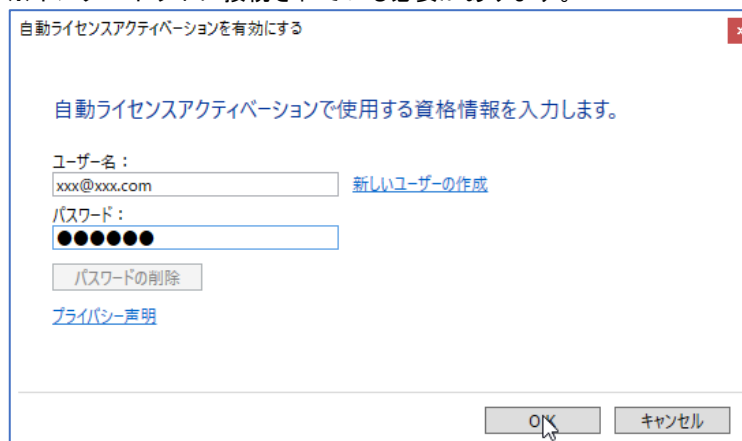


3. [自動ライセンスアクティベーションを行う]にチェックを入れてください。



4. 表示されたウィンドウに My Milestone のユーザー名とパスワードを入力してください。

※インターネットに接続されている必要があります。



以上で自動アクティベーションの設定は完了です。

カメラ追加・交換時に自動的にアクティベーション処理が実施されます。

### 2.4.2 手動アクティベーション（オンラインアクティベーション）

初回カメラセットアップ時にアクティベーションを行う場合やカメラの追加・交換する場合など、再アクティベーションが必要な場合において、一時的にのみインターネットに接続する場合は手動アクティベーション(オンラインアクティベーション)を行います。

本手順はライセンス管理権限を持つ My Milestone のアカウントを作成後、アクティベーション処理を行います。

#### (1) My Milestone アカウントの作成

※すでに My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

Milestone 社の Web ページ「<https://www.milestonesys.com/ja/my-milestone>」にアクセスし、My Milestone アカウントを作成します。

#### (2) ライセンス管理権限の付与

※すでにライセンス管理権限を持つ My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

下記様式の電子メールにてライセンス管理権限の付与依頼をしてください。

依頼メールが弊社に到着後、平日営業日 5 日以内に電子メールにて対応致します。

メール件名 : [依頼][VMS]ライセンス管理権限の付与依頼

送付先 E-mail : [iot-edge-license@itpf.jp.nec.com](mailto:iot-edge-license@itpf.jp.nec.com)

本文内容…必ず下記項目をご記入ください。

装置型番 :

装置シリアルナンバー :

お客様社名/所属 :

お客様ご担当者名 :

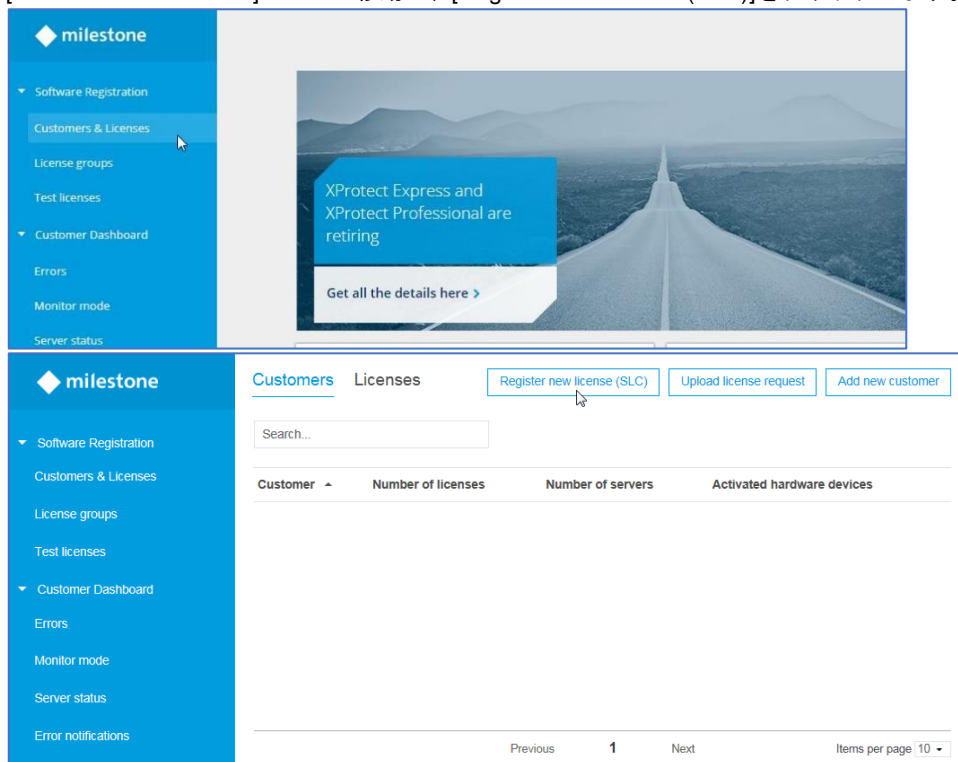
連絡先電話番号 :

My Milestone アカウントのユーザー名（登録時に使用したメールアドレス）

※メールアドレスはお間違いの無いようにご確認の上、送付してください。

### (3) Milestone Customer Dashboard へのソフトウェアライセンスコードの登録

1. Milestone Customer Dashboard 「<https://online.milestonesys.com>」に My Milestone アカウントでログインします。
2. [Customers & Licenses]ページに移動し、[Register new license (SLC)]をクリックします。



3. 以下の情報を入力後、[OK]をクリックします。

Software license code : Mxx-xxx-xxx-xx-xxxxx※1

Customer : 任意の名前(会社名等)<sup>※2</sup>

License description (optional) : 装置型番 (例: N8100-3002)

装置シリアルナンバー (例: 76000000)

Register new software license

Software license code

Customer

sample

+ Add new customer

License description (optional)

License group (optional)

Select license group ...

Save

Cancel

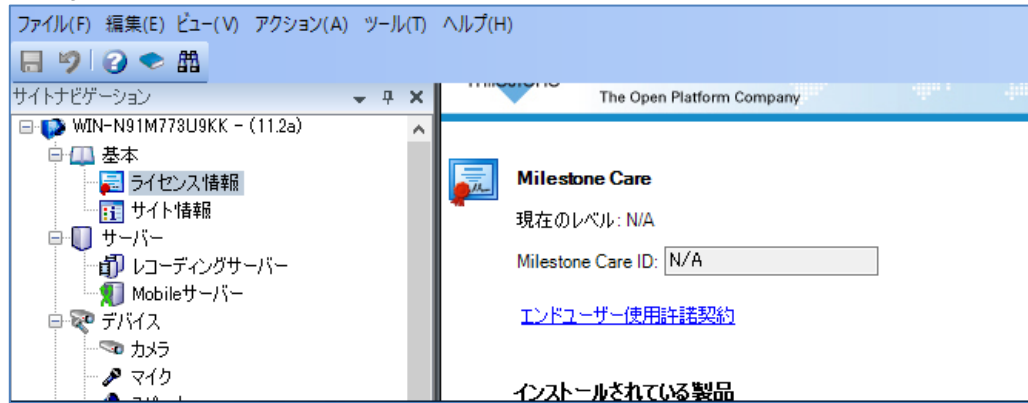
※1 Software license code は Management Client のサイトナビゲーションで[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択することで確認できます。

※2 選択可能な Customer が存在しない場合は[Add new customer]をクリックし、任意の Customer を作成してください。

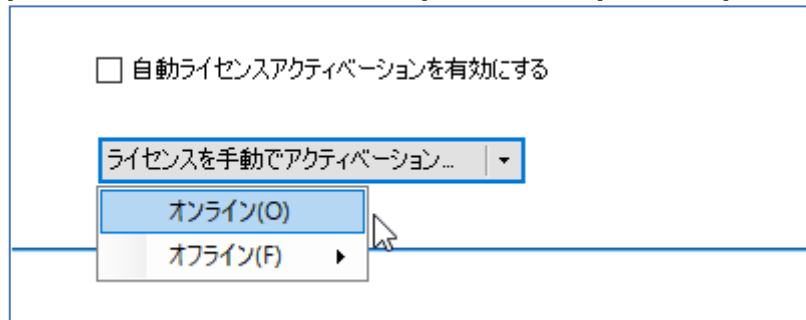
#### (4) 手動アクティベーションの実施

1. Management Client を起動します。

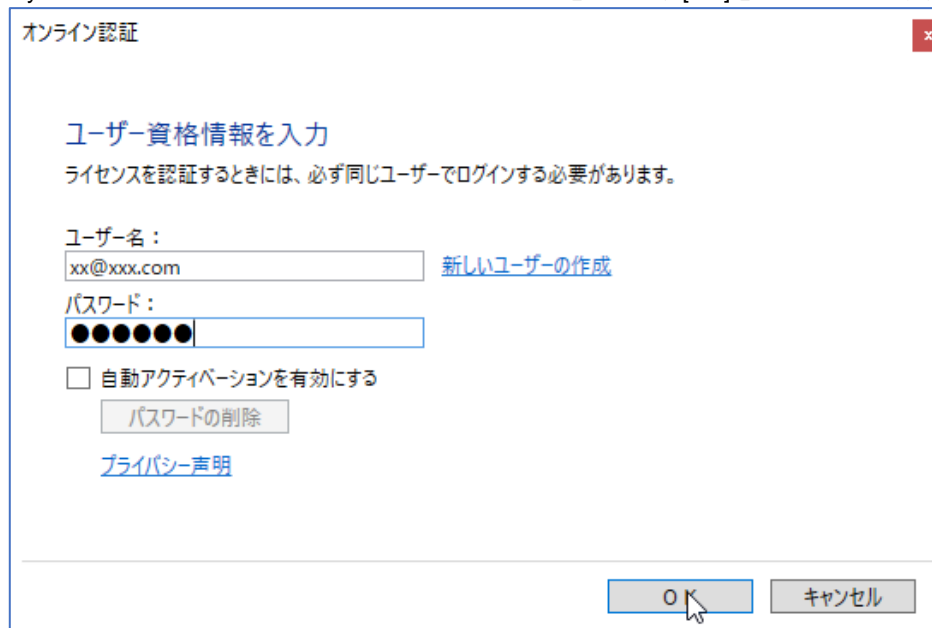
2. Management Client のサイトナビゲーションで[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択します。



3. [ライセンスの手動アクティベーション]をクリックし、[オンライン]を選択します。



4. My Milestone アカountのユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



以上でアクティベーションは完了です。

### 2.4.3 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestone アカウントを使用する場合）

装置がインターネットに接続されていない状態でアクティベーションを行うことができます。

別途、インターネットに接続可能なコンピューターが必要です。

ライセンス管理権限を持つ、My Milestone のアカウントが必要です。

#### (1) My Milestone アカウントの作成

※すでに My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

Milestone 社の Web ページ「<https://www.milestonesys.com/ja/my-milestone>」にアクセスし、My Milestone アカウントを作成します。

#### (2) ライセンス管理権限の付与

※すでにライセンス管理権限を持つ My Milestone アカウントをお持ちの場合は本項目の作業は不要です。

下記様式の電子メールにてライセンス管理権限の付与依頼をしてください。

依頼メールが弊社に到着後、平日営業日 5 日以内に電子メールにて対応致します。

メール件名 : [依頼][VMS]ライセンス管理権限の付与依頼

送付先 E-mail : [iot-edge-license@itpf.jp.nec.com](mailto:iot-edge-license@itpf.jp.nec.com)

本文内容…必ず下記項目をご記入ください。

装置型番 :

装置シリアルナンバー :

お客様社名/所属 :

お客様ご担当者名 :

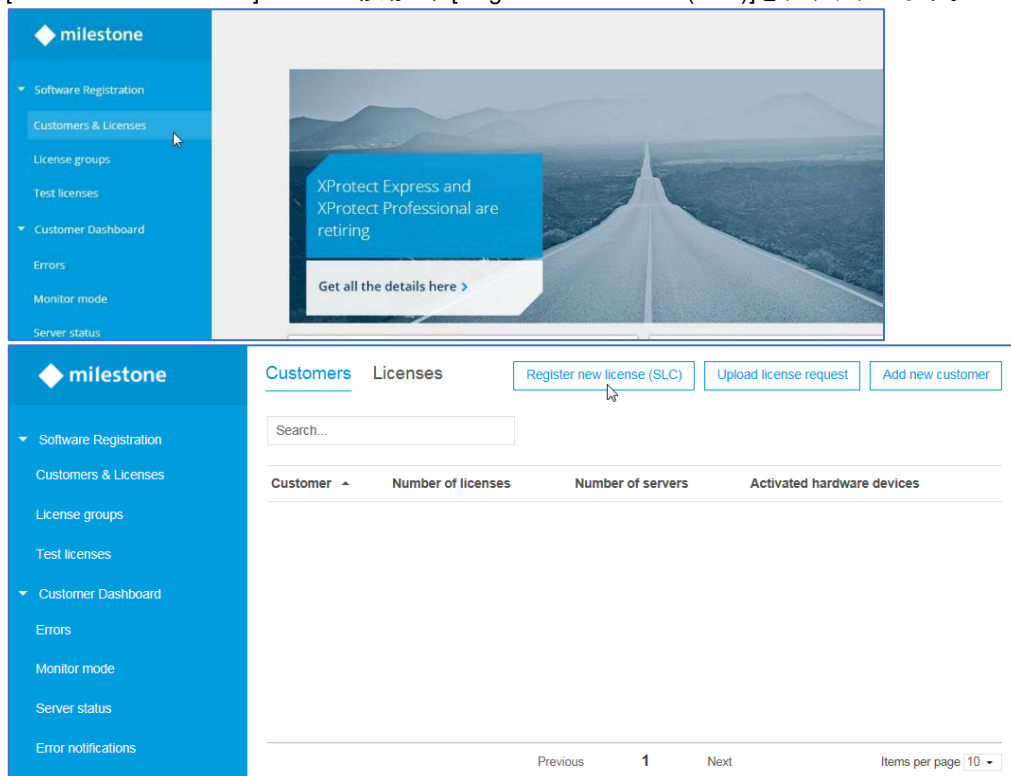
連絡先電話番号 :

My Milestone アカウントのユーザー名（登録時に使用したメールアドレス）

※メールアドレスはお間違いの無いようにご確認の上、送付してください。

### (3) Milestone Customer Dashboard へのソフトウェアライセンスコードの登録

1. Milestone Customer Dashboard 「<https://online.milestonesys.com>」に My Milestone アカウントでログインします。
2. [Customers & Licenses]ページに移動し、[Register new license (SLC)]をクリックします。



3. 以下の情報を入力後、[OK]をクリックします。
- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| Software license code          | : Mxx-xxx-xx-xxxxx※1                              |
| Customer                       | : 任意の名前(会社名等)※2                                   |
| License description (optional) | : 装置型番 (例: N8100-3002)<br>装置シリアルナンバー (例: 7600000) |

Register new software license

Software license code

Customer

sample

+ Add new customer

License description (optional)

License group (optional)

Select license group ...

Save

Cancel

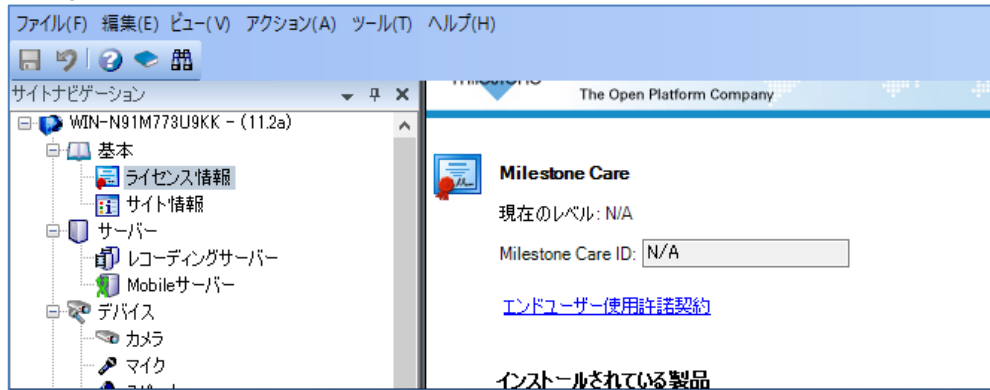
※1 Software license code は Management Client のサイトナビゲーションで[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択することで確認できます。

※2 選択可能な Customer が存在しない場合は[Add new customer]をクリックし、任意の Customer を作成してください。

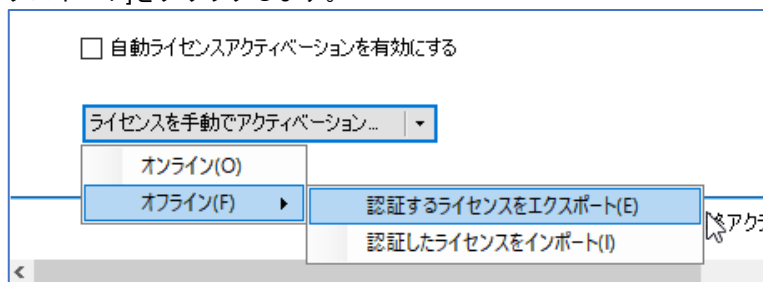
#### (4) 手動アクティベーションの実施

1. Management Client を起動します。

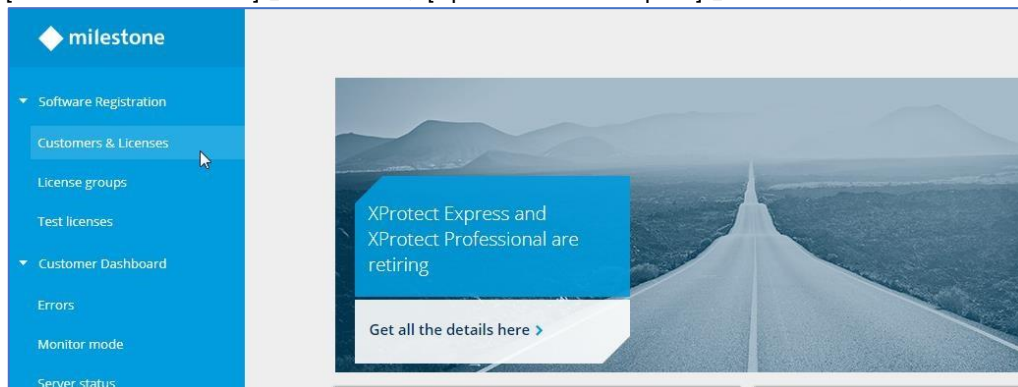
2. Management Client のサイトナビゲーションで[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択します。

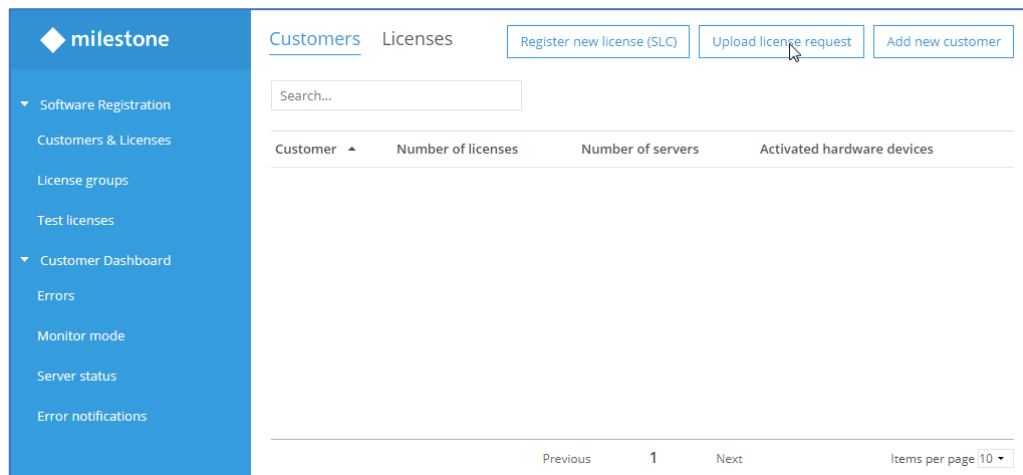


3. [ライセンスを手動でアクティベーション]、[オフライン]の順にクリックし、[認証するライセンスをエクスポート]をクリックします。

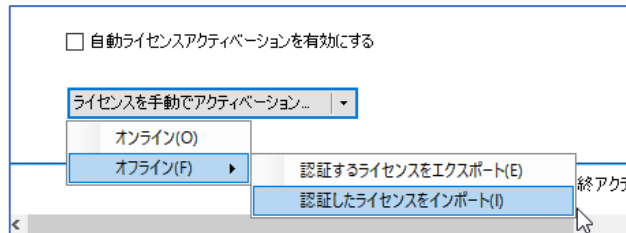


4. エクスポートしたライセンスリクエストファイル(XXX-XXX-XXX-XX-XXXXXX.lrq)を USB メモリなどのポータブルストレージデバイスに保存します。
5. ポータブルストレージデバイスをインターネットに接続したコンピューターに接続し、Milestone Customer Dashboard 「<https://online.milestonesys.com>」 にログインします。
6. [Customers & Licenses]をクリックし、[Upload License Request]をクリックします。





7. [Select .lrq file]をクリックし、ポータブルストレージデバイス上のライセンスリクエストファイルを選択します。
8. [Upload (アップロード)]をクリックします。
9. アクティベーション済みライセンスファイルが My Milestone アカウントに登録されたメールアドレスに送信されます。
10. 電子メールからポータブルストレージデバイスにアクティベーション済みライセンスファイルをコピーします。
11. アクティベーションを行う装置で Management Client を起動し、[ライセンスを手動で認証]をクリックし、[オフライン]、[認証したライセンスをインポート]をクリックします。



12. アクティベーション済みライセンスファイルを選択します。

以上でアクティベーションは完了です。

### 2.4.4 手動アクティベーション（オフラインアクティベーション、My Milestoneアカウントを使用しない場合）

装置がインターネットに接続されていない状態でアクティベーションを行うことができます。

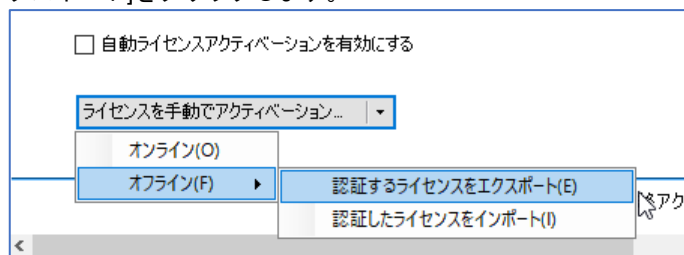
別途、インターネット接続可能な PC が必要です。

#### (1) 手動アクティベーションの実施

1. Management Client のサイトナビゲーションで[基本]を展開し、[ライセンス情報]を選択します。



2. [ライセンスを手動でアクティベーション]、[オフライン]の順にクリックし、[認証するライセンスをエクスポート]をクリックします。



3. ライセンスリクエストファイルを、下記様式の電子メールに添付して送付してください。

依頼メールが弊社に到着後、平日営業日5日を目途にアクティベーション済みライセンスファイルを  
送付いたします。

メール件名 : [依頼][VMS]アプライアンス製品ライセンスオフラインアクティベーション

送付先 E-mail : [iot-edge-license@itpf.jp.nec.com](mailto:iot-edge-license@itpf.jp.nec.com)

本文内容…必ず下記項目をご記入ください。

装置型番 :

装置シリアルナンバー :

お客様社名/所属 :

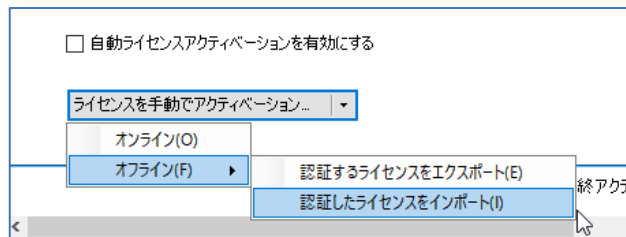
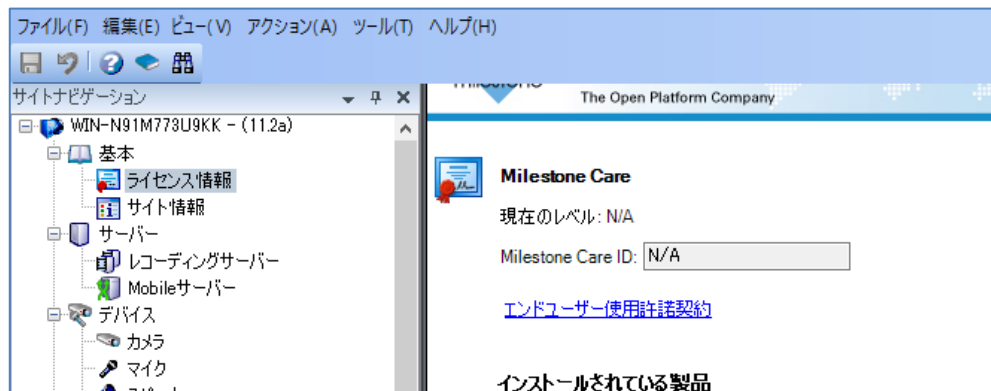
お客様ご担当者名 :

連絡先電話番号 :

アクティベート済みライセンス受け取り E-mail :

※E-mail アドレスはお間違いの無いようにご確認の上、送付してください。

4. アクティベーションを行う装置で Management Client を起動し、[ライセンスを手動で認証]をクリックし、[オフライン]、[認証したライセンスをインポート]をクリックし、アクティベーション済みライセンスファイルを選択してください。



以上でアクティベーションは完了です。

## 2.5 ビデオマネジメントシステムの各種設定

### 2.5.1 録画用カメラの詳細設定

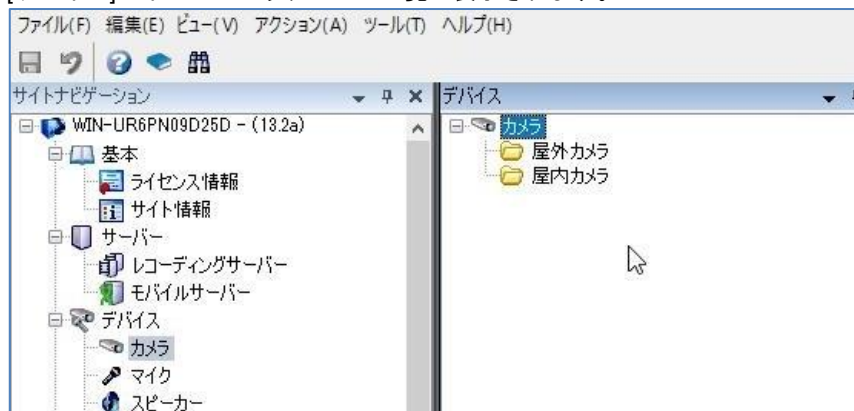
録画用カメラのセットアップ後はすでに録画可能な状態になっていますが、解像度、フレームレート、ビットレートなどはデフォルト値が適用されています。

ここでは、録画用カメラの解像度、フレームレート、ビットレートなどを設定する方法を説明します。

設定に関する詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

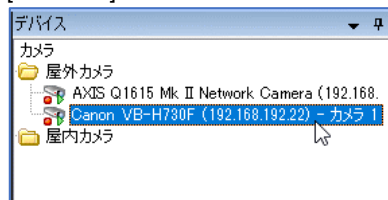
- (1) Management Client を起動します。
- (2) [サイトナビゲーション]ペインから[デバイス - カメラ]をクリックします。

[デバイス]ペインにカメラグループ一覧が表示されます。



- (3) (a) カメラ個別に設定する場合

[デバイス]ペインのカメラグループフォルダーを展開し、対象のカメラをクリックします。



- (b) カメラグループごとに設定する場合

同型、または同じカメラドライバを使用するカメラを複数台使用し、同じカメラグループに登録されている場合、一括でカメラの設定を行うことが可能です。

[デバイス]ペインのカメラグループフォルダーをクリックし、[プロパティ]ペインから対応するカメラドライバを選択します。



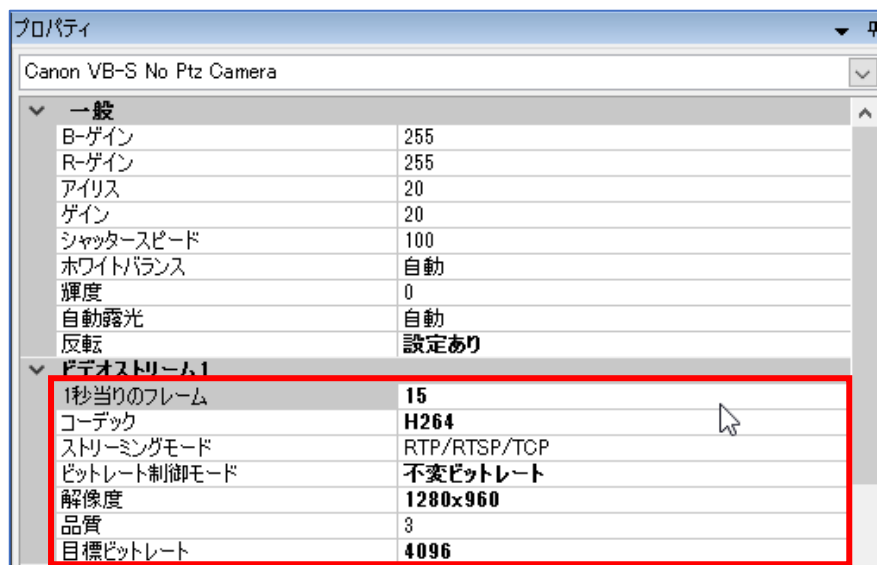
(4) [プロパティ]ペインにて[ビデオストリーム 1]の設定値を編集します。

※[プロパティ]ペインでは、カメラベンダや機種の違いにより表示される項目は異なります。

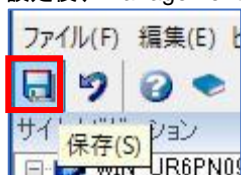
※カメラによって h.264/h.265 コーデックが使用可能なストリームが[ビデオストリーム 1]ではない場合があります。その場合、h.264/h.265 コーデックが使用可能なビデオストリームのプロパティを設定し、手順6を実施ください。

主に以下の設定を編集します。

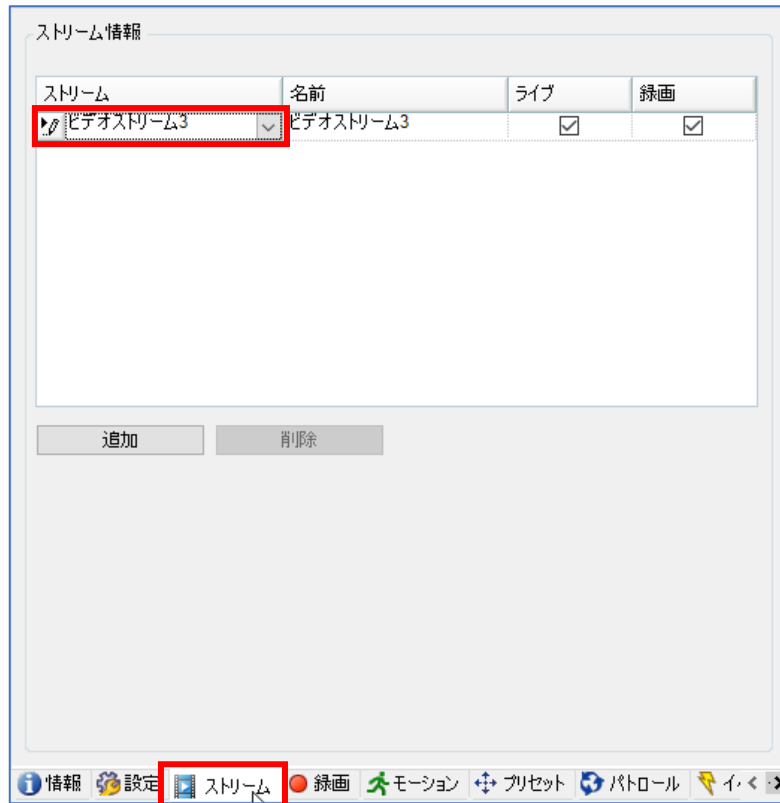
- 1秒当たりのフレーム(フレームレート)
- コーデック
- ビットレート制御モード
- 解像度
- 目標ビットレート



(5) 設定後、Management Client 左上の保存ボタンをクリックします。



- (6) 使用するビデオストリームが[ビデオストリーム 1]ではない場合は以下の設定を行います。  
[プロパティ]ペインの[ストリーム]タブを開き、ストリーム列の[ビデオストリーム 1]を使用するストリームに変更します。



- (7) 設定後、Management Client 左上の保存ボタンをクリックします。



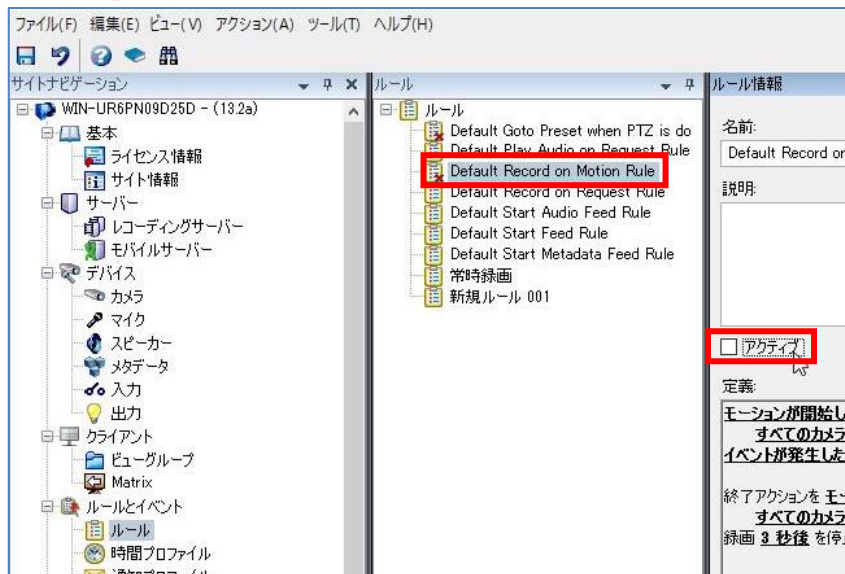
## 2.5.2 録画のルール設定

ビデオマネジメントシステムでは、自由で柔軟なルール設定が可能です。例えばカメラの録画開始、PTZカメラのパトロール開始、通知送信等を開始するタイミングなどをルールで設定できます。ルール設定の詳細は「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

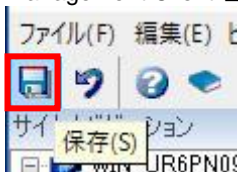
ここでは、すべてのカメラを常時録画にするためのルール設定方法を記載します。

※録画用カメラセットアップ直後の録画設定は、動きがあった場合に録画する設定になっています。

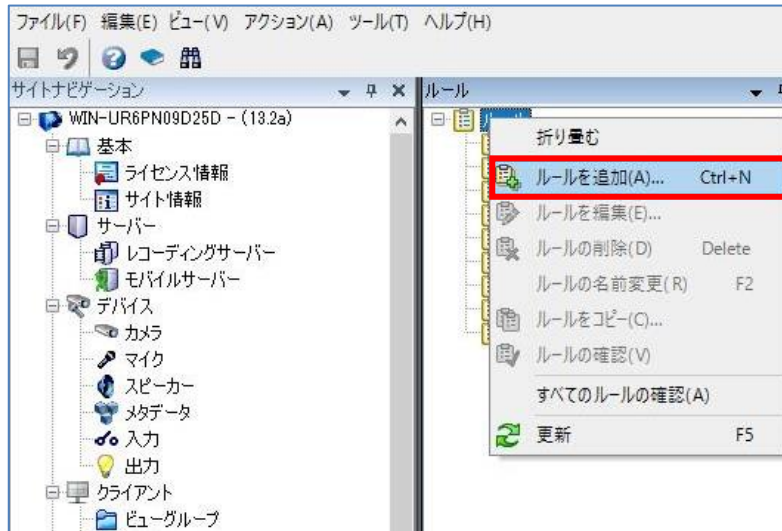
- (1) Management Client を起動します。
- (2) [サイトナビゲーション]ペインの[ルールとイベント - ルール]をクリックします。
- (3) [ルール]ペインの[Default Record on Motion Rule]をクリックし、[ルール情報]ペインの[アクティブ]のチェックを外します。



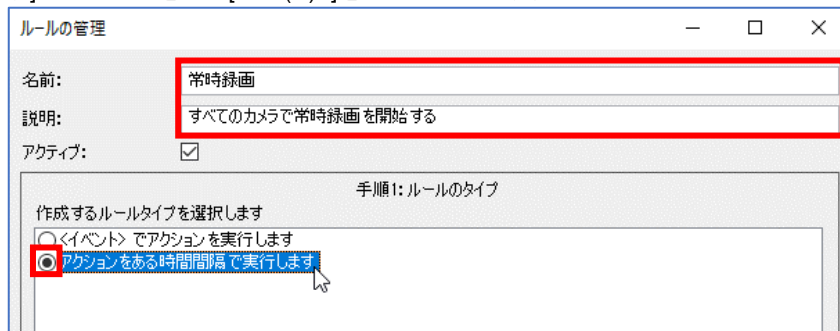
- (4) Management Client 左上の保存ボタンをクリックします。



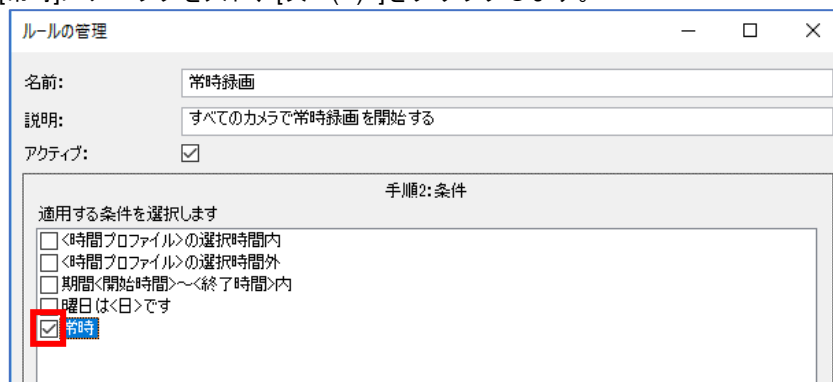
- (5) [ルール]ペインの[ルール]を右クリックし、[ルールの追加]を選択します。



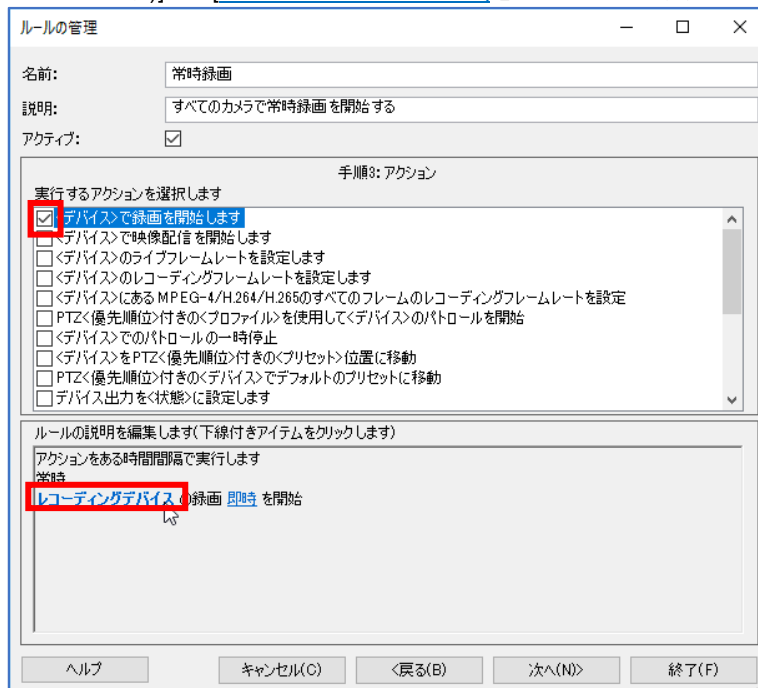
- (6) [名前:]欄に任意のルール名、[説明:]欄に任意の説明を入力し、[アクションをある時間間隔で実行します]にチェックを入れ[次へ(N)>]をクリックします。



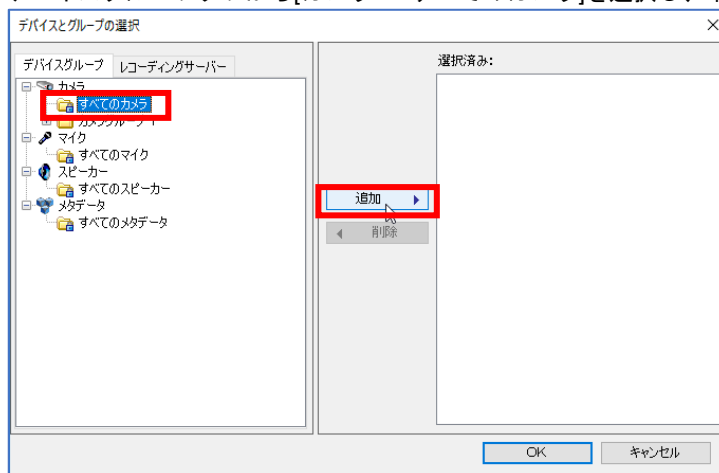
- (7) [常時]にチェックを入れ、[次へ(N)>]をクリックします。



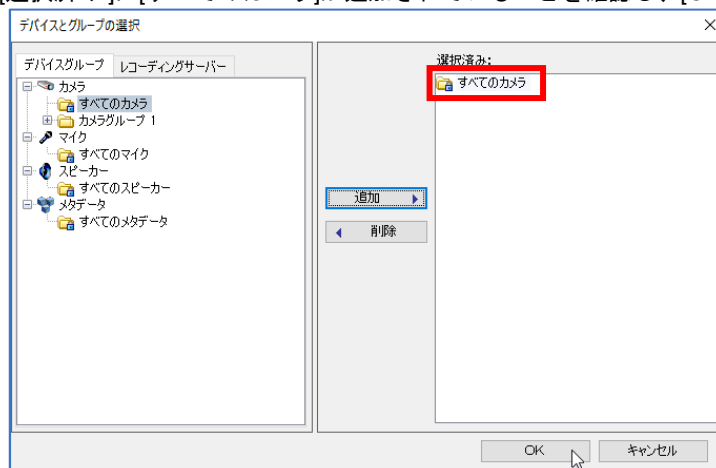
- (8) [<デバイス>で録画を開始します]にチェックを付け、[ルール説明を編集します(下線付きアイテムをクリックします)]内の[レコーディングデバイス]をクリックします。



- (9) デバイスグループタブから[カメラ - すべてのカメラ]を選択し、中央の[追加]をクリックします。



- (10) [選択済み:]に[すべてのカメラ]が追加されていることを確認し、[OK]をクリックします。



(11) [次へ(N)>]をクリックします。

ルール管理

名前: 常時録画

説明: すべてのカメラで常時録画を開始する

アクティブ: ☒

手順3: アクション

実行するアクションを選択します

- ☒ <デバイス>で録画を開始します
- ☐ <デバイス>で映像配信を開始します
- ☐ <デバイス>のライブフレームレートを設定します
- ☐ <デバイス>のレコーディングフレームレートを設定します
- ☐ <デバイス>にある MPEG-4/H.264/H.265のすべてのフレームのレコーディングフレームレートを設定
- ☐ PTZ<優先順位>付きの<プロファイル>を使用して<デバイス>のパトロールを開始
- ☐ <デバイス>でのパトロールの一時停止
- ☐ <デバイス>をPTZ<優先順位>付きの<プリセット>位置に移動
- ☐ PTZ<優先順位>付きの<デバイス>でデフォルトのプリセットに移動
- ☐ デバイス出力を<状態>に設定します

ルールの説明を編集します(下線付きアイテムをクリックします)

アクションをある時間間隔で実行します

常時  
すべてのカメラの録画 即時を開始

ヘルプ キャンセル(C) <戻る(B) 次へ(N)> 終了(F)

(12) そのまま[次へ(N)>]をクリックします。

ルール管理

名前: 常時録画

説明: すべてのカメラで常時録画を開始する

アクティブ: ☒

手順4: 終了条件

終了条件を選択します

- ☒ 時間間隔が終了すると、終了アクションを実行します
- ☐ ルール終了時には、アクションは実行されません

ルールの説明を編集します(下線付きアイテムをクリックします)

アクションをある時間間隔で実行します

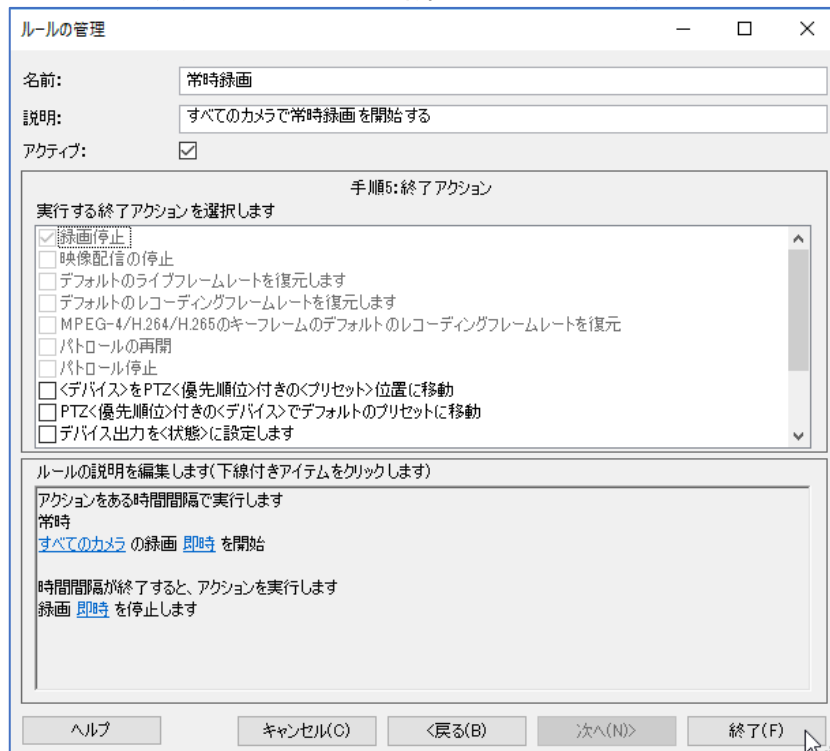
常時  
すべてのカメラの録画 即時を開始

時間間隔が終了すると、アクションを実行します

ヘルプ キャンセル(C) <戻る(B) 次へ(N)> 終了(F)

(13) [終了(F)]をクリックし、ルール作成を完了します。

ルール作成後、すべてのカメラで常時録画状態となります。



## 2.6 Smart Client

Smart Client では、主に「ライブビュー」「再生」「検索」「アラームマネージャ」の機能が利用できます。詳細機能については「VMS ユーザーマニュアル」をご確認ください。

### 2.6.1 ライブビュー

Smart Client では、カメラ映像のライブビューを閲覧することが可能です。

ライブビュー画面はユーザーが自由に構成することができます。

1. Smart Client を起動しログインします。
2. Smart Client 上部の[ビュー]タブを選択し、Smart Client 画面下部の[ライブ]を選択します。



3. 右上の[セットアップ]ボタンをクリックします。



4. 左フレーム[ビュー]の[個人フォルダ]を右クリックし、[新規グループ]をクリックします。グループには任意の名前を設定できます。

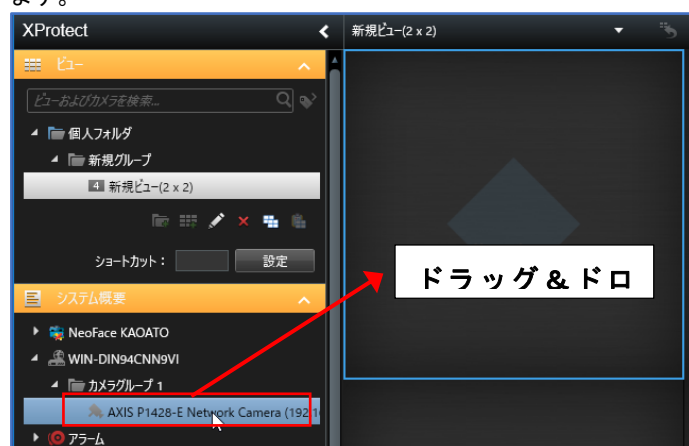


Management Client の[ナビゲーション]ペイン -[ビューグループ]においてもビューのグループを作成できます。作成したビューを他ユーザーと共有することも可能です。

5. [新規ビューを作成]ボタンをクリックします。ディスプレイのアスペクト比を考慮し画面構成を選択します



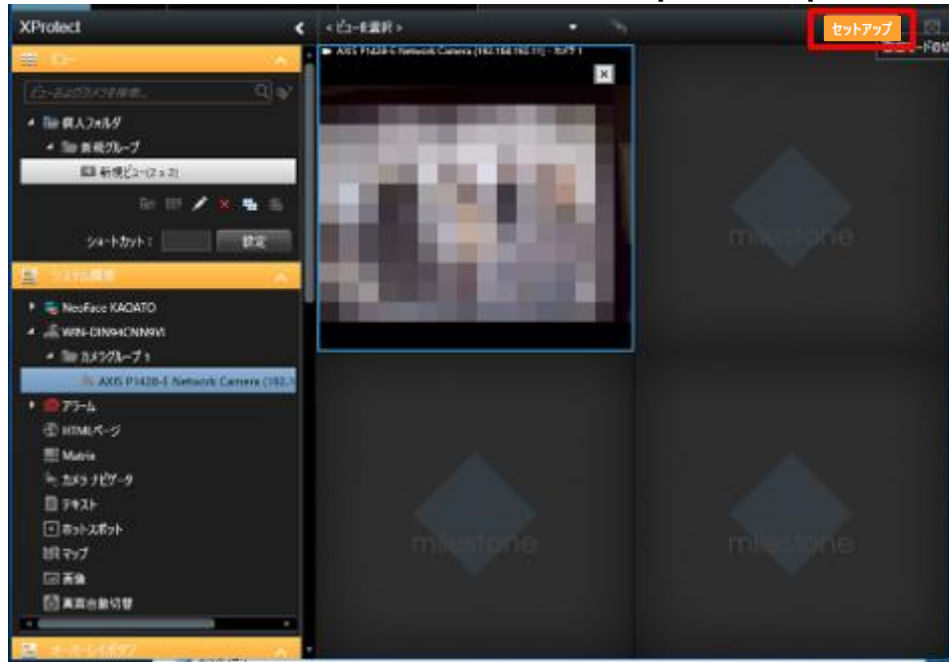
6. 左フレーム[システム概要]の[Server]-[カメラグループ]-["表示したいカメラ"]をドラッグ&ドロップします。



すべてのカメラを一度に表示する場合は、[カメラグループ]フォルダーをドラッグ&ドロップします。



7. カメラのプレビュー画像が表示されたことを確認し、右上の[セットアップ]をクリックします。



8. 設定画面が終了し、画面構成が保存されます。

### 2.6.2 再生

ここでは、Smart Client で録画再生する方法を説明します。

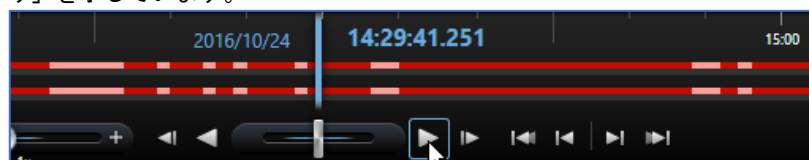
1. Smart Client を起動します。
2. Smart Client 上部の[ビュー]タブを選択し、Smart Client 画面下部の[再生]を選択します。



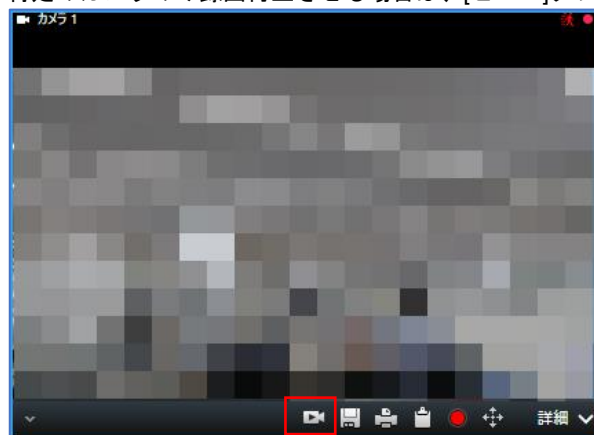
3. [順方向再生]ボタンをクリックすると、ビューに表示されている全カメラの録画が再生されます。



4. シークバーを左クリック&ドラッグすると、タイムラインをスクロールすることができます。  
シークバーの灰色部分は「録画なし」、ピンク色部分は「録画」、赤色部分は「録画+モーションあり」を示しています。



5. 特定のカメラのみ録画再生させる場合は、[ビュー]タブの[再生]の[独立再生]ボタンをクリックします。

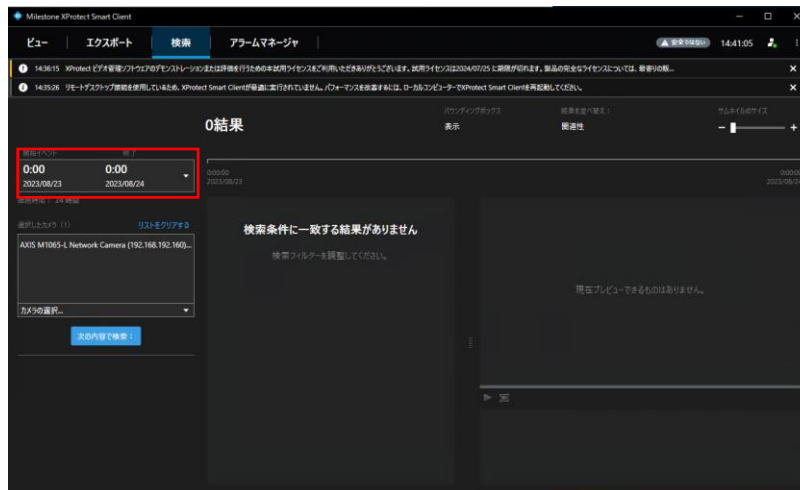


### 2.6.3 検索

検索では、録画データから一定間隔ごとのサムネイルを生成し、一覧表示することができます。サムネイルをクリックすると、その時点の録画データの再生を行います。

設定方法や使用方法は「VMS ユーザーマニュアル」、「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

1. Smart Client を起動します。
2. Smart Client 上部の[検索]タブをクリックします。
3. 検索したい時間帯を指定します。



4. [カメラの選択...]をクリックし、検索するカメラを選択します。



5. 画面中央に検索結果が表示され、検索結果の録画画像をクリックすると画面左側に再生画面が表示されます。



#### 2.6.4 アラームマネージャ

アラームマネージャでは、マップ、発生したアラーム一覧、アラームが発生した時間のプレビューを表示する画面で構成されています。

設定方法や使用方法は「VMS ユーザーマニュアル」、「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

## 第3章. 免責・法的通知

### 3.1 免責事項

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
- (2) 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
- (4) 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
- (5) 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
- (6) 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

## 3.2 商標情報

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Celeron、Pentium、Xeon は米国 Intel Corporation の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

### 3.3 ライセンス通知

本製品の一部(システムBIOS)には下記ライセンスのオープンソースソフトウェアが含まれています。

#### **EDK/EDKII**

BSD License from Intel

Copyright (c) 2012, Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#### **OpenSSL**

OpenSSL License

-----

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:  
 "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.  
[\(http://www.openssl.org/\)](http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
 "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit  
[\(http://www.openssl.org/\)](http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)).

This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

### **AMI CRYPTO LIBRARY USING WPA SUPPLICANT**

WPA Supplicant

-----

Copyright (c) 2003-2016, Jouni Malinen <[j@w1.fi](mailto:j@w1.fi)> and contributors

All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

-----

This software may be distributed, used, and modified under the terms of  
BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that  
the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本製品の一部(NeoFace-V)には下記ライセンスのオープンソースソフトウェアが含まれています。

**caffe**

COPYRIGHT

All contributions by the University of California:

Copyright (c) 2014-2017 The Regents of the University of California (Regents)

All rights reserved.

All other contributions:

Copyright (c) 2014-2017, the respective contributors

All rights reserved.

Caffe uses a shared copyright model: each contributor holds copyright over their contributions to Caffe. The project versioning records all such contribution and copyright details. If a contributor wants to further mark their specific copyright on a particular contribution, they should indicate their copyright solely in the commit message of the change when it is committed.

## LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## CONTRIBUTION AGREEMENT

By contributing to the BVLC/caffe repository through pull-request, comment, or otherwise, the contributor releases their content to the license and copyright terms herein.

### **intel/caffe**

#### COPYRIGHT

All modification made by Intel Corporation: © 2017 Intel Corporation.

All new contributions compared to the original branch:

Copyright (c) 2015, 2016 Wei Liu (UNC Chapel Hill), Dragomir Anguelov (Zoox), Dumitru Erhan (Google), Christian Szegedy (Google), Scott Reed (UMich Ann Arbor), Cheng-Yang Fu (UNC Chapel Hill), Alexander C. Berg (UNC Chapel Hill).

All rights reserved.

All contributions by the University of California:

Copyright (c) 2014, 2015, The Regents of the University of California (Regents)

All rights reserved.

All other contributions:

Copyright (c) 2014, 2015, the respective contributors

All rights reserved.

Caffe uses a shared copyright model: each contributor holds copyright over their contributions to Caffe. The project versioning records all such contribution and copyright details. If a contributor wants to further mark their specific copyright on a particular contribution, they should indicate their copyright solely in the commit message of the change when it is committed.

## LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## CONTRIBUTION AGREEMENT

By contributing to the BVLC/caffe repository through pull-request, comment, or otherwise, the contributor

releases their content to the license and copyright terms herein.

### **Intel Compiler Runtime Libraries**

third-party-programs.txt

This text file is the "third-party-programs.txt" file specified in the associated license agreement. The third party programs files and the corresponding third party licenses are listed below. As specified in the associated license agreement, the listed third party programs files are subject to the corresponding third party licenses that solely and exclusively govern your use of the third party programs.

This third-party-programs.txt file applies to 18.0 C++ Compiler.

#####

Microsoft Public License (Ms-PL)

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

#### 1. Definitions

The terms "reproduce," "reproduction," "derivative works," and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

A "contribution" is the original software, or any additions or changes to the software.

A "contributor" is any person that distributes its contribution under this license. "Licensed patents" are a contributor's patent claims that read directly on its contribution.

#### 2. Grant of Rights

1. Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce its contribution, prepare derivative works of its contribution, and distribute its contribution or any derivative works that you create.

2. Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free license under its licensed patents to make, have made, use, sell, offer for sale, import, and/or otherwise dispose of its contribution in the software or derivative works of the contribution in the software.

#### 3. Conditions and Limitations

1. No Trademark License- This license does not grant you rights to use any contributors' name, logo, or trademarks.

2. If you bring a patent claim against any contributor over patents that you claim are infringed by the software, your patent license from such contributor to the software ends automatically.

3. If you distribute any portion of the software, you must retain all copyright, patent, trademark, and

attribution notices that are present in the software.

4. If you distribute any portion of the software in source code form, you may do so only under this license by including a complete copy of this license with your distribution. If you distribute any portion of the software in compiled or object code form, you may only do so under a license that complies with this license.
5. The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. The contributors give no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, the contributors exclude the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

#####

Eclipse Public License - v 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS ECLIPSE PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

## 1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

- a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement,  
and
- b) in the case of each subsequent Contributor:
  - i) changes to the Program, and
  - ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates' from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents" mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

## 2. GRANT OF RIGHTS

- a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.
- b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which

include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.

- c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.
- d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

### 3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

- a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and
- b) its license agreement:
  - i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;
  - ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;

iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and

iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

a) it must be made available under this Agreement; and

b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

#### 4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay

those damages.

#### 5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

#### 6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### 7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. The Eclipse Foundation is the initial Agreement Steward. The Eclipse Foundation may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

#####

#### BSD Two Clause License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the

following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#####

Copyright (c) 2017, Intel

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#####

Copyright (C) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises.

All rights reserved.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch ghost@aladdin.com

#####

Microsoft Limited Permissive License (Ms-LPL)

Published: October 18, 2005

This license governs use of the accompanying software. If you use the software, you accept this license. If you do not accept the license, do not use the software.

#### Definitions

The terms "reproduce," "reproduction" and "distribution" have the same meaning here as under U.S. copyright law.

"You" means the licensee of the software.

"Licensed patents" means any Microsoft patent claims which read directly on the software as distributed by Microsoft under this license.

#### Grant of Rights

Copyright Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, Microsoft grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce the software, prepare derivative works of the software and distribute the software or any derivative works that you create. Patent Grant- Subject to the terms of this license, including the license conditions and limitations in section 3, Microsoft grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under licensed patents to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the software or derivative works of the software.

#### Conditions and Limitations

No Trademark License- This license does not grant you any rights to use Microsoft's name, logo, or trademarks.

If you begin patent litigation against Microsoft over patents that you think may apply to the software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), your license to the software ends automatically.

If you distribute copies of the software or derivative works, you must retain all copyright, patent, trademark, and attribution notices that are present in the software.

If you distribute the software or derivative works in source code form you may do so only under this license (i.e., you must include a complete copy of this license with your distribution), and if you distribute the software or derivative works in compiled or object code form you may only do so under a license that complies with this license.

The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. Microsoft gives no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this license cannot change. To the extent permitted under your local laws, Microsoft excludes the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

Platform Limitation- The licenses granted in sections 2(A) & 2(B) extend only to the software or derivative works that you create that run on a Microsoft Windows operating system product.

#####

University of Illinois/NCSA Open Source License

Copyright (c) 2017 ICL All rights reserved.

Developed by:

ICL                  Intel                  www.intel.com

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal with the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of <Name of Development Group, Name of Institution>, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS WITH THE SOFTWARE.

#####

### **Intel Math Kernel Library (Intel MKL)**

Intel Integrated Performance Primitives (Intel IPP)

Intel Integrated Performance Primitives Cryptography (Intel IPPCP) Intel Simplified Software License  
(Version April 2018)

Copyright (c) 2018 Intel Corporation.

Use and Redistribution. You may use and redistribute the software (the “Software”), without modification, provided the following conditions are met:

- \* Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following terms of use in the Software and in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* Neither the name of Intel nor the names of its suppliers may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.
- \* No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this Software is permitted.

Limited patent license. Intel grants you a world-wide, royalty-free, non-exclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to make, have made, use, import, offer to sell and sell (“Utilize”) this Software, but solely to the extent that any such patent is necessary to Utilize the Software alone. The patent license shall not apply to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed hereunder.

Third party and other Intel programs. “Third Party Programs” are the files listed in the “third-party-programs.txt” text file that is included with the Software and may include Intel programs under separate license terms. Third Party Programs, even if included with the distribution of the Materials, are governed by separate license terms and those license terms solely govern your use of those programs.

DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. THIS SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN SYSTEMS OR APPLICATIONS WHERE FAILURE OF THE SOFTWARE MAY CAUSE PERSONAL INJURY OR DEATH AND YOU AGREE THAT YOU ARE FULLY RESPONSIBLE FOR ANY CLAIMS, COSTS, DAMAGES, EXPENSES, AND ATTORNEYS’ FEES ARISING OUT OF ANY SUCH USE, EVEN IF ANY CLAIM ALLEGES THAT INTEL WAS NEGLIGENT REGARDING THE DESIGN OR MANUFACTURE OF THE MATERIALS.

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL INTEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD INTEL HARMLESS AGAINST ANY CLAIMS AND EXPENSES RESULTING FROM YOUR USE OR UNAUTHORIZED USE OF THE SOFTWARE.

No support. Intel may make changes to the Software, at any time without notice, and is not obligated to support, update or provide training for the Software.

Termination. Intel may terminate your right to use the Software in the event of your breach of this Agreement and you fail to cure the breach within a reasonable period of time.

Feedback. Should you provide Intel with comments, modifications, corrections, enhancements or other input ("Feedback") related to the Software Intel will be free to use, disclose, reproduce, license or otherwise distribute or exploit the Feedback in its sole discretion without any obligations or restrictions of any kind, including without limitation, intellectual property rights or licensing obligations.

Compliance with laws. You agree to comply with all relevant laws and regulations governing your use, transfer, import or export (or prohibition thereof) of the Software.

Governing law. All disputes will be governed by the laws of the United States of America and the State of Delaware without reference to conflict of law principles and subject to the exclusive jurisdiction of the state or federal courts sitting in the State of Delaware, and each party agrees that it submits to the personal jurisdiction and venue of those courts and waives any objections. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (1980) is specifically excluded and will not apply to the Software.

\* Other names and brands may be claimed as the property of others.

third-party-programs.txt (MKL)

This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Math Kernel Library 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in this version of the Intel(R) Math Kernel Library.

third-party-programs.txt (IPP)

This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Integrated Performance Primitives 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in this version of the Intel(R) Integrated Performance Primitives.

third-party-programs.txt (IPPCP)

This third-party-programs.txt file applies to the Intel(R) Integrated Performance Primitives Cryptography 2019 Update 1.

There are not any Third Party Programs (as defined in the Agreement) included in this version of the Intel(R) Integrated Performance Primitives.

### **libjpeg**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

### **libre**

Copyright (C) 2010 Creytiv.com All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* Neither the name of the Creytiv.com nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CREYTIV.COM BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

### **Open Computer Vision Library (OpenCV)**

IMPORTANT: READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license.

If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement  
For Open Source Computer Vision Library

Copyright (C) 2000-2008, Intel Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2009, Willow Garage Inc., all rights reserved.

Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* The name of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the Intel Corporation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

**pdollar/toolbox**

Copyright (c) 2012, Piotr Dollar

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

## 第4章. 改版履歴

版数	日付	内容
1	2024/12/25	初版

## 付録1. 付録の説明

本書の付録は以下の場合に参照してください。

章	説明
付録 2	VMS を後から追加で購入した場合の VMS のインストール手順です。
付録 3	VMS のビデオプッシュ機能を使う場合のインストール手順です。
付録 4	VMS のカメラ交換をする場合の手順です。
付録 5	VMS のコンピュータ名の変更をする場合の手順です。
付録 6	VMS でネットワークドライブへアーカイブ設置をする場合の手順です。

## 付録2. VMS を追加インストールする

本製品購入後に後からビデオマネジメントソフトウェアのライセンスを購入した場合は、以下の手順でビデオマネジメントソフトウェアをインストールしてください。

映像アプライアンスベースモデル購入時にビデオマネジメントソフトウェアを同時に手配した場合、またはビデオマネジメントソフトウェアを使用しない場合は本項をスキップしてください。

追加インストールは以下の手順で実施します。

1. ビデオマネジメントソフトウェアのライセンスファイル(Mxx-xxx-xxx-xx-xxxxxx.lic)を以下のフォルダに格納します。

C:\NEC\License

2. 以下のファイルを管理者として実行します。

C:\NEC\Setup\VMS\SetupVMS.cmd

3. 実行するとコンピュータ名を変更するか確認のメッセージが表示されます。

変更する場合は Y を入力します。変更しない場合は N を入力し、手順 8 に進んでください。

※「映像アプライアンス メンテナンスガイド 3 章(1.1 システム設定のバックアップ)」の手順、またはログ採取ツール実行によって採取したバックアップファイルをリストアする場合、設定のリストアのためにはコンピュータ名を OS 復元前と同じに変更する必要があります。

4. 変更する場合、新しいコンピュータ名を入力します。

5. 確認メッセージが表示されますので Y を入力します。

6. 再起動が必要となりますので、任意のキーを押して装置を再起動させます。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe
初期セットアップを開始します。
ビデオマネジメントソフトウェアをインストールします。
ビデオマネジメントソフトウェアの初期セットアップ後はコンピュータ名を変更できません。
現在のコンピュータ名: 'WIN-1KLHM3CNGVN'
コンピュータ名を変更しますか? (Y or N)
新しいコンピュータ名を入力してください。(英数字と-合わせて15文字まで): WIN-52
コンピュータ名を 'WIN-52' に変更しますがよろしいですか? (Y or N): Y
(¥¥WIN-1KLHM3CNGVN¥¥ROOT¥C:\MV2:Win32_ComputerSystem.Name='WIN-1KLHM3CNGVN')->rename() を実行しています
メソッドが正しく実行しました。
出力パラメーター
instance of __PARAMETERS
{
    ReturnValue = 0;
};
1 個のファイルをコピーしました。
コンピュータ名の変更が完了しました。
何かキーを押すと再起動します。

```

7. 再起動し OS にログインすると自動的に次の画面が表示されますので N を入力します。

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
初期セットアップを開始します。

ビデオマネジメントソフトウェアをインストールします。
ビデオマネジメントソフトウェアの初期セットアップ後はコンピュータ名を変更できません。
現在のコンピュータ名: 「WIN-52」
コンピュータ名を変更しますか? (Y or N) : N
```

8. 再度確認画面が表示されますので Y を入力します。

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
初期セットアップを開始します。

ビデオマネジメントソフトウェアをインストールします。
ビデオマネジメントソフトウェアの初期セットアップ後はコンピュータ名を変更できません。
現在のコンピュータ名: 「WIN-52」
コンピュータ名を変更しますか? (Y or N) : N
コンピュータ名を変更しませんがよろしいですか? (Y or N) Y
```

9. ビデオマネジメントソフトウェアがインストールされます。

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
初期セットアップを開始します。

ビデオマネジメントソフトウェアをインストールします。
ビデオマネジメントソフトウェアの初期セットアップ後はコンピュータ名を変更できません。
現在のコンピュータ名: 「WIN-52」
コンピュータ名を変更しますか? (Y or N) : N
コンピュータ名を変更しませんがよろしいですか? (Y or N) Y
ビデオマネジメントソフトウェアをインストールを開始します。
「初期セットアップが完了しました。」と表示されるまでマウス・キーボードに触れずお待ちください。
セットアップには15分程度時間がかかります。
```

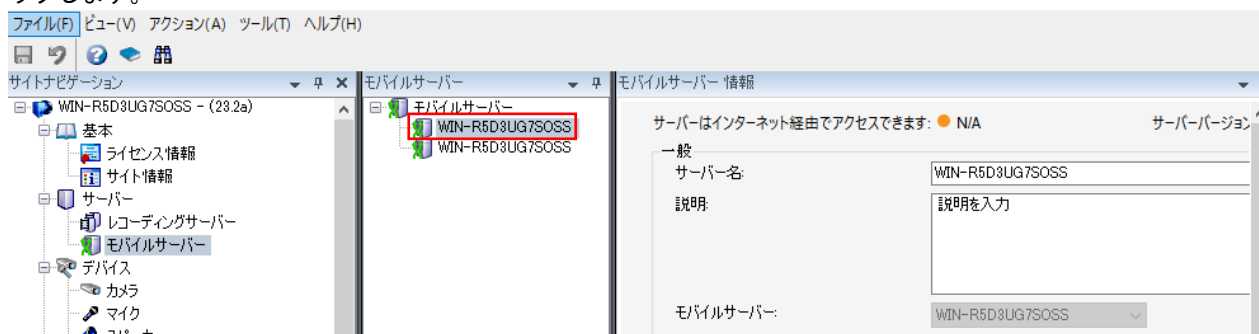
10. ウィンドウ上に「初期セットアップが完了しました。」と表示されればインストール完了です。



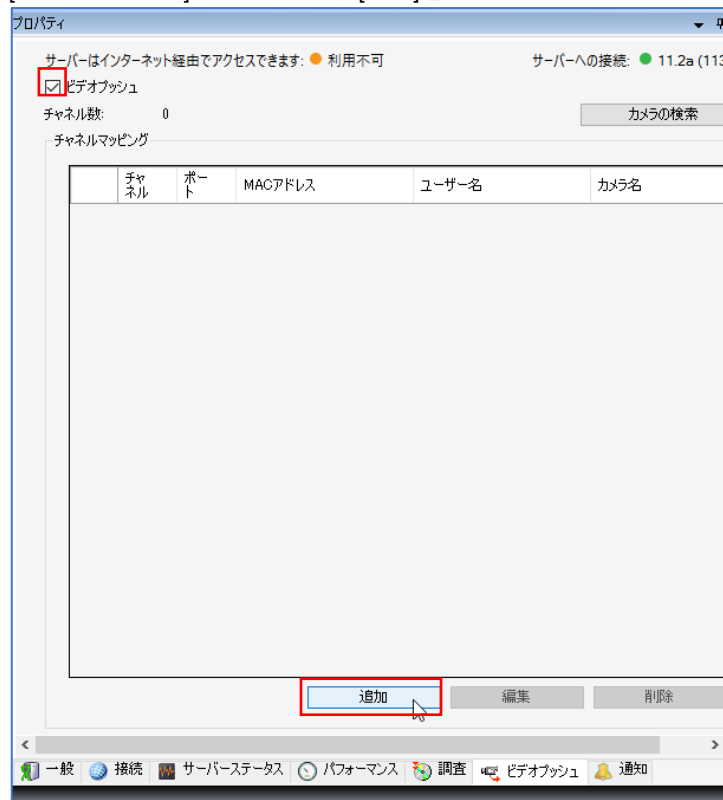
## 付録3. VMS のビデオプッシュ機能を使う

スマートフォン、タブレットのカメラから映像を録画するビデオプッシュ機能の設定方法を説明します。  
ビデオプッシュ機能の使用には 1 カメラライセンスを必要とします。

1. 本装置とスマートフォン、タブレットがネットワークでつながっていることを確認し、Milestone Moblie Client のログインが可能なことを確認します。
2. Management Client にて[サイトナビゲーション]ペインから[サーバー – Mobile サーバー]をクリックします。
3. [Mobile サーバー]ペインの[Mobile サーバー – Milestone Mobile Server – (コンピューター名)]をクリックします。



4. [プロパティ]ペイン下部のタブから[ビデオプッシュ]を選択します。
5. [ビデオプッシュ]にチェックし、[追加]をクリックします。



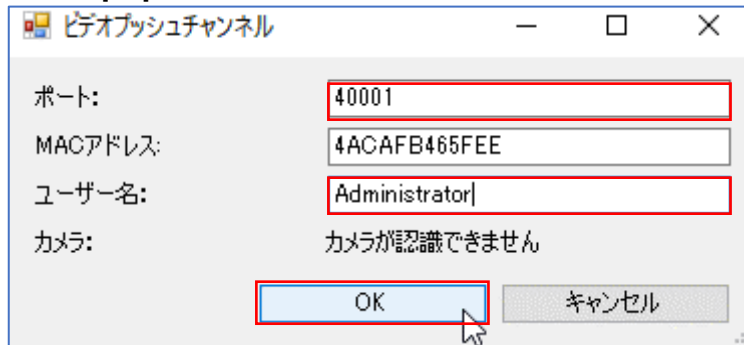
6. 以下の値を入力します。  
ポート: 40001 (他 SW で使用している場合は任意の値に変更)

### 付録3 VMS のビデオプッシュ機能を使う

MAC アドレス: そのままで OK です

ユーザー名: Milestone Moblie Client にログインするためのユーザー名

入力後、[OK]ボタンをクリックします。



ビデオプッシュチャンネル

ポート: 40001

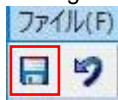
MACアドレス: 4ACAFB465FEE

ユーザー名: Administrator

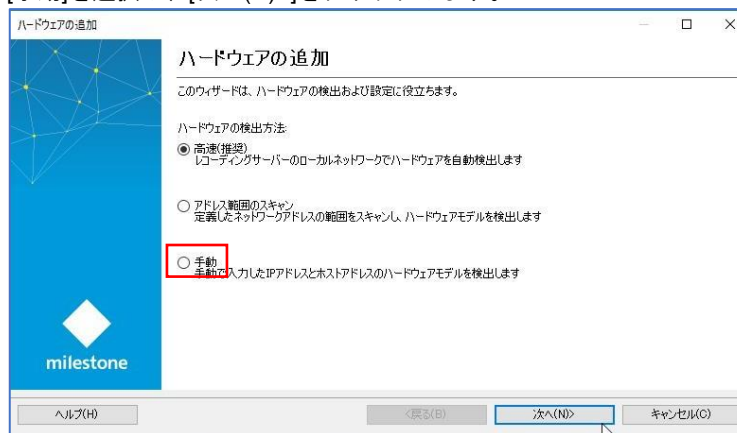
カメラ: カメラが認識できません

OK キャンセル

7. Management Client 左上の保存ボタンをクリックし、設定を保存します。



8. [サイトナビゲーション]ペインから[サーバー - レコーディングサーバー]をクリックします。
9. [レコーディングサーバー]ペインからコンピューター名を右クリックし、[ハードウェアの追加]を選択します。
10. [手動]を選択し、[次へ(N)>]をクリックします。



ハードウェアの追加

このウィザードは、ハードウェアの検出および設定に役立ちます。

ハードウェアの検出方法

☒ 高速(推奨)  
レコーディングサーバーのローカルネットワークでハードウェアを自動検出します

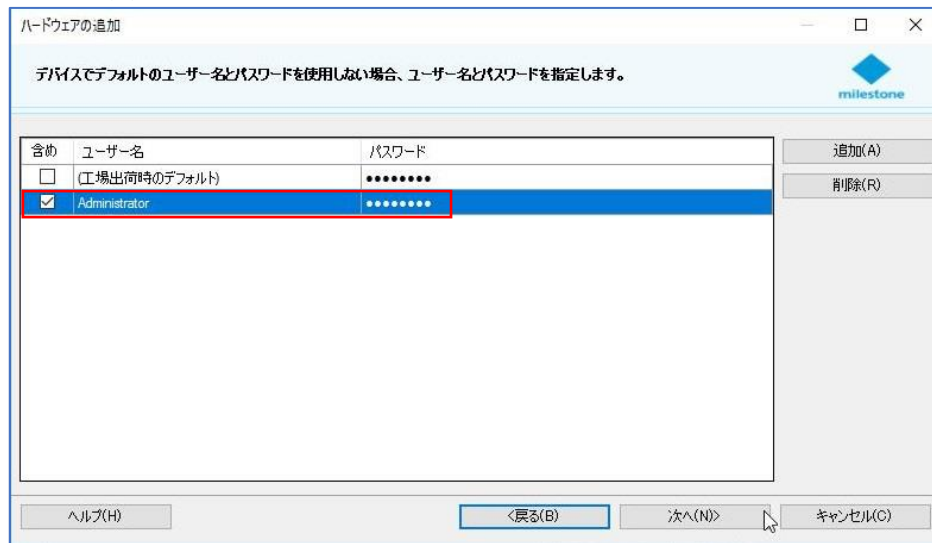
☐ アドレス範囲のスキャン  
定義したネットワークアドレスの範囲をスキャンし、ハードウェアモデルを検出します

☐ 手動  
手動で入力したIPアドレスとホストアドレスのハードウェアモデルを検出します

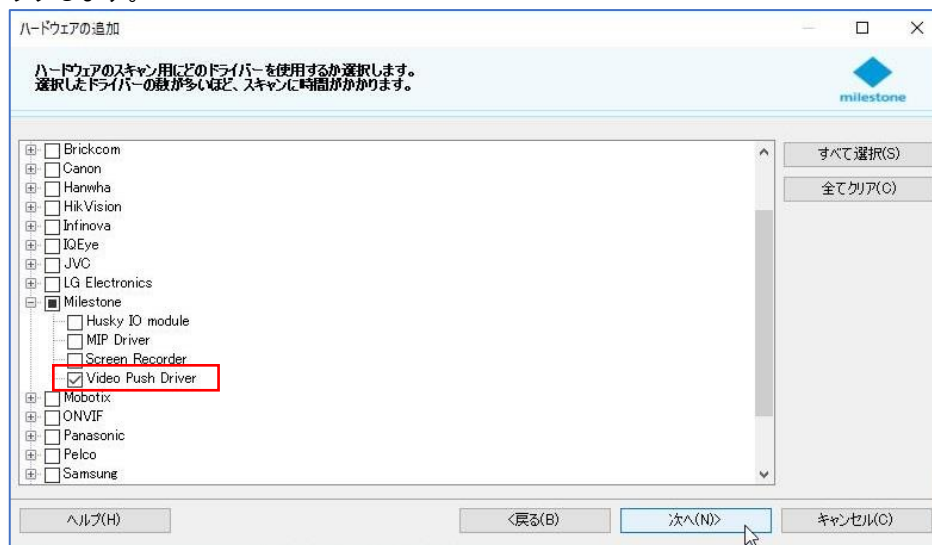
ヘルプ(H) <戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(O)

### 付録3 VMS のビデオプッシュ機能を使う

11. ユーザー名に手順 6 で設定したユーザー名を入力し、パスワードに「Milestone」と[次へ(N)>]をクリックします。



12. ドライバー一覧から[Milestone]を展開し、[Video Push Driver]のみチェックを付け、[次へ(N)>]をクリックします。



### 付録3 VMS のビデオプッシュ機能を使う

13. アドレスに「localhost」、ポートに手順 6 で設定したポート、ハードウェアモデルに Video Push Driver を入力し、[次へ(N)>]をクリックします。その後、通常の録画用カメラ接続と同様にカメラを追加します。

アドレス	ポート	ハードウェアモデル
localhost	40001	Video Push Driver

14. 再度手順 2～4 実施後、[プロパティ]ペインの[カメラの検索]をクリックします。

チャンネル	ポート	MACアドレス	ユーザー名	カメラ名
1	40001	4ACAFB465FEE	Administrator	カメラが認識できません

15. カメラ名にビデオプッシュドライバと表示され、ビデオプッシュの設定完了となります。

チャンネル	ポート	MACアドレス	ユーザー名	カメラ名
1	40001	4ACAFB465FEE	Administrator	ビデオプッシュドライバ

16. 手順 6 で設定したユーザー名、パスワードで Mobile Client にログインするとビデオプッシュ機能が利用可能になります。

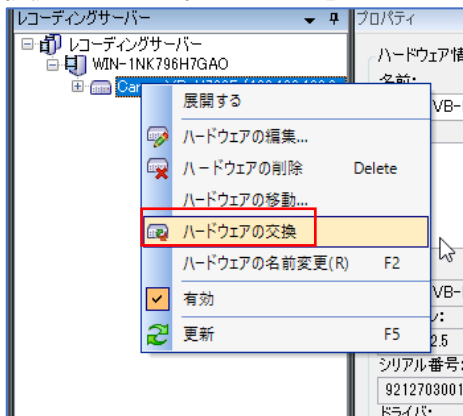
## 付録4. VMS のカメラ交換をする

ここでは故障によるカメラ交換方法について記載します。

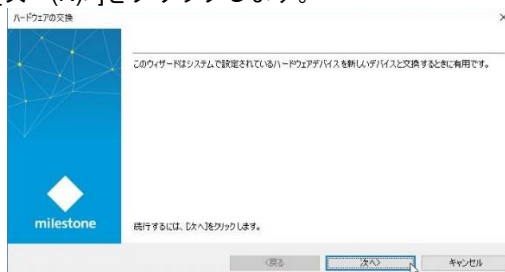
カメラ交換要件については「VMS 管理者マニュアル」をご確認ください。

※一定数のカメラを交換する場合、ライセンスの再アクティベーションが必要になることがあります。

1. カメラを新規手配し、サーバーから新規カメラにアクセス可能なことを確認します。
2. Management Client [サイトナビゲーション]ペインから[サーバー - レコーディングサーバー]をクリックします。
3. 接続されている録画用カメラを右クリックし、[ハードウェアの交換]を選択します。



4. [次へ(N)>]をクリックします。



5. 新しいカメラの IP アドレス、ポート、ユーザー名、パスワードを入力し、[ハードウェアドライバ]列に[(自動検出)]を選択後、[自動検出(D)]をクリックします。  
ハードウェアドライバが自動的に検出された後、[次へ(N)>]をクリックします。

ハードウェアの交換

新しいハードウェア情報を以下に入力します。  
フィールドには古いハードウェア情報があらかじめ入力されています。

ハードウェアの検出中

	アドレス	ポート	ユーザー名	パスワード	ハードウェアドライバ
	192.168.192.22	80	root	*****	Canon VB-S800/805/900/905/8000/90

自動検出(D) <戻る 次へ> キャンセル

6. データを継承するデバイスをカメラ、マイク、スピーカー、入力、出力について選択し、[次へ>]をクリックします。

ハードウェアの交換

各新規デバイスで継承する古いデバイス(既存のデータベースを含む)を選択します。  
新しいデバイスが古いデバイスのいずれも継承しない場合、[なし]を選択します。  
継承されない古いデバイスのデータベースは削除されます。

新規ハードウェアデバイス	継承
マイク1	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - マイク 1
スピーカー	
スピーカー-1	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - スピーカー 1
入力	
入力1	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 入力 1
入力2	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 入力 2
出力	
出力1	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 出力 1
出力2	Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 出力 2

ヘルプ <戻る 次へ> キャンセル

7. ハードウェアが正しく置換されることを確認後、[確認]をクリックします。

ハードウェアの交換

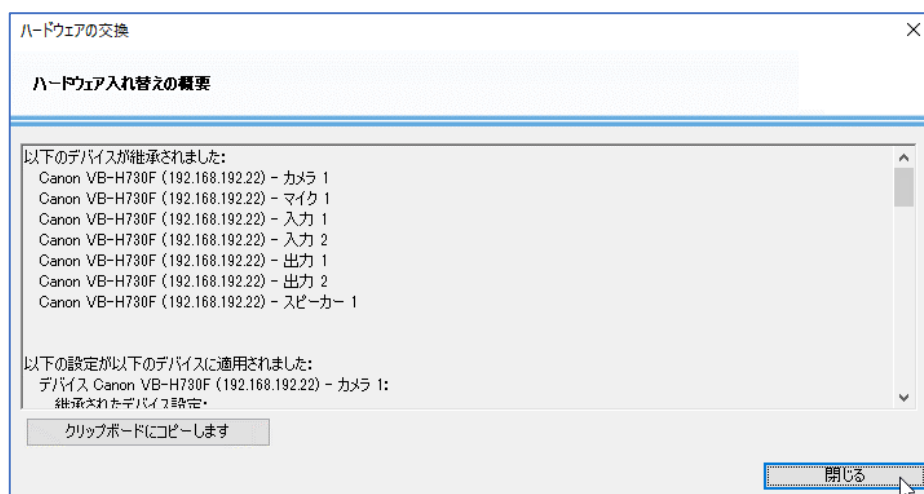
ハードウェア入れ替えの確認

これらの現在のデバイスは、以下の新しいデバイスと置換されます:

- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - カメラ 1' の代わりに新しいハードウェア上のカメラ 1 を使用します
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - マイク 1' の代わりに新しいハードウェアのマイク 1 を使用します
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - スピーカー 1' の代わりに新しいハードウェア上のスピーカー 1 を使用します。
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 入力 1' の代わりに新しいハードウェアの入力 1 を使用します
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 入力 2' の代わりに新しいハードウェアの入力 2 を使用します
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 出力 1' の代わりに新しいハードウェアの出力 1 を使用します
- 'Canon VB-H730F (192.168.192.22) - 出力 2' の代わりに新しいハードウェアの出力 2 を使用します

<戻る 確認 キャンセル

8. [閉じる]をクリックし、カメラの交換を完了します。



## 付録5. VMS のコンピュータ名変更を行う

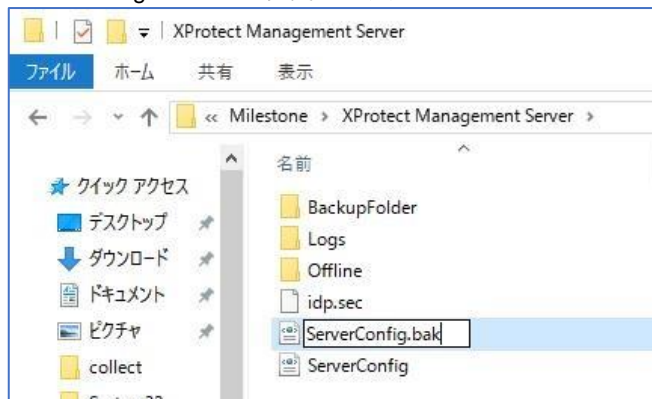
コンピュータ名を変更後この設定を実施しない場合、XProtect の機能が使用できない状態となります。

※新しいコンピュータ名は半角英数字、ハイフンのみを使用した 15 文字以内に設定してください。

全角や、ハイフン以外の記号を使用し変更した場合は XProtect が正しく動作しない場合があります。

以下、新しいコンピュータ名を「APPLIANCE-1」にした場合の設定手順を説明します。

1. エクスプローラーから C:\ProgramData\Milestone\XProtect Management Server を開きます。
2. ServerConfig.xml をコピーし、同フォルダに貼り付けます。コピーしたファイルのファイル名を ServerConfig.bak.xml に変更します。

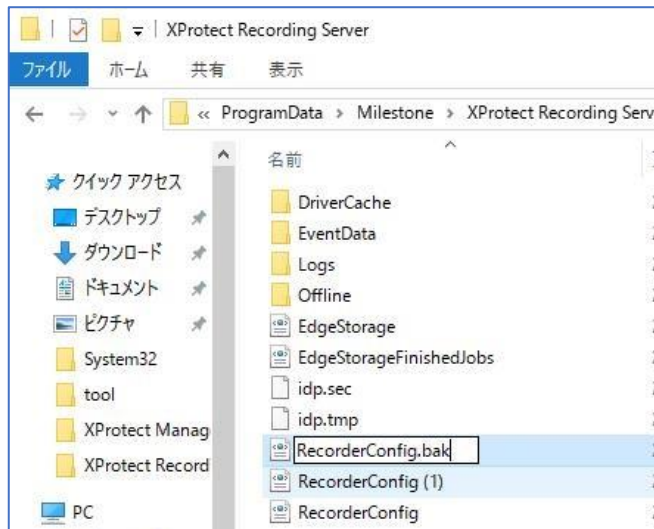


3. ServerConfig.xml をメモ帳等で開き、以下を書き換えて上書き保存します。

<AuthorizationServerUri>http://新しいコンピュータ名/IDP</AuthorizationServerUri>

```
<Port>9000</Port>
<ServiceDiscoveryTimeout>10</ServiceDiscoveryTimeout>
<ServiceDiscoveryCheckInterval>2</ServiceDiscoveryCheckInterval>
<SleepBetweenRecorderReconnection>2</SleepBetweenRecorderReconnection>
<AuthorizationServerUri>http://APPLIANCE-1/IDP</AuthorizationServerUri>
<SleepBetweenGetCompleteConfigurationReconnection>5</SleepBetweenGetCompleteConfigurationReconnection>
</WebApiConfig>
```

4. エクスプローラーから C:\ProgramData\Milestone\XProtect Recording Server を開きます。
5. RecorderConfig.xml をコピーし、同フォルダに貼り付けます。コピーしたファイルのファイル名を RecorderConfig.bak.xml に変更します。

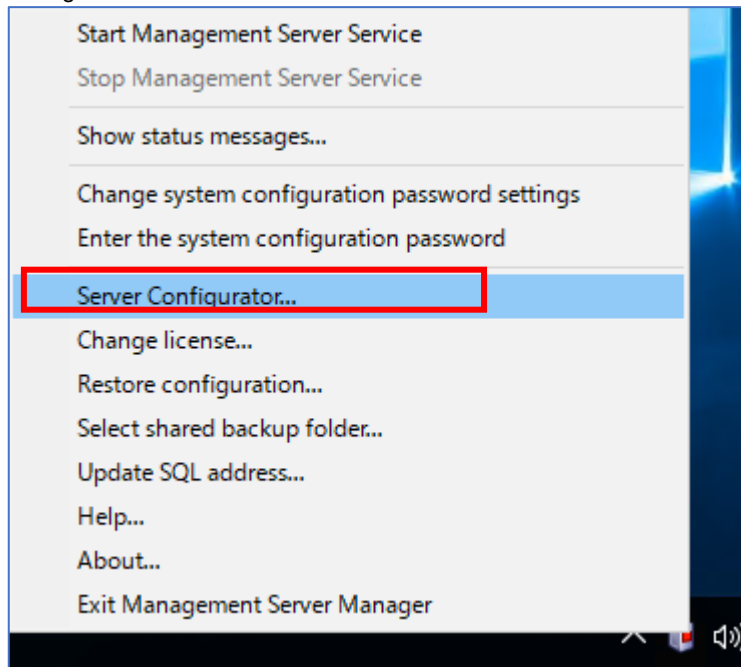


6. RecorderConfig.xml をメモ帳等で開き、以下を書き換えて上書き保存します。

<publicUri>新しいコンピュータ名:9001</publicUri>

```
<webapi>
  <usewebapi>True</usewebapi>
  <port>9001</port>
  <publicUri>APPLIANCE-1:9001</publicUri>
  <timeoutfraction>2</timeoutfraction>
</webapi>
<pipeline>
```

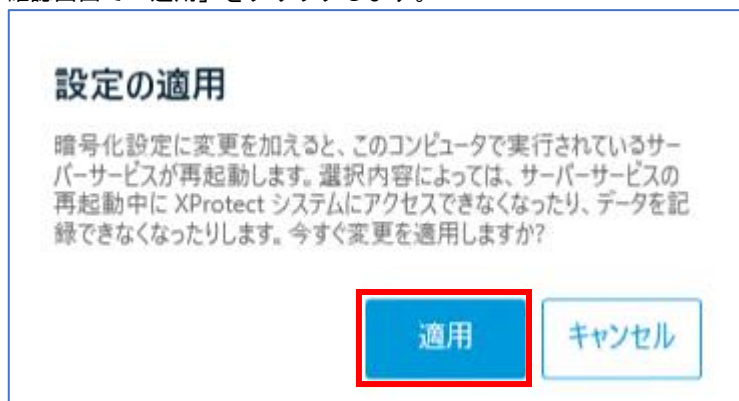
7. 右下のタスクトレイから Milestone XProtect Management Server を右クリックし「Server Configurator」をクリックします。



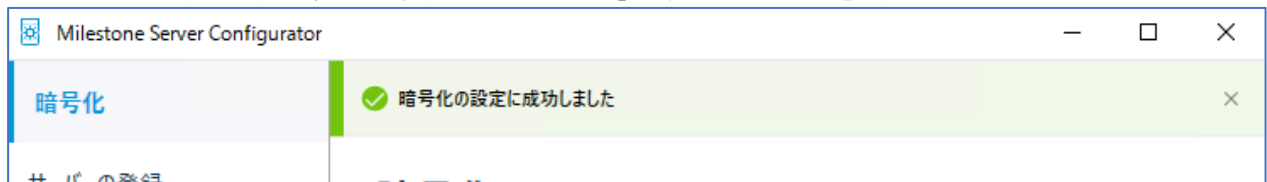
8. 「適用」をクリックします。



9. 確認画面で「適用」をクリックします。



10. 適用完了後、「暗号化の設定に成功しました」と表示されたことを確認します。



以上で設定は完了です。

## 付録6. VMS のネットワークドライブヘアーカイク設定をする

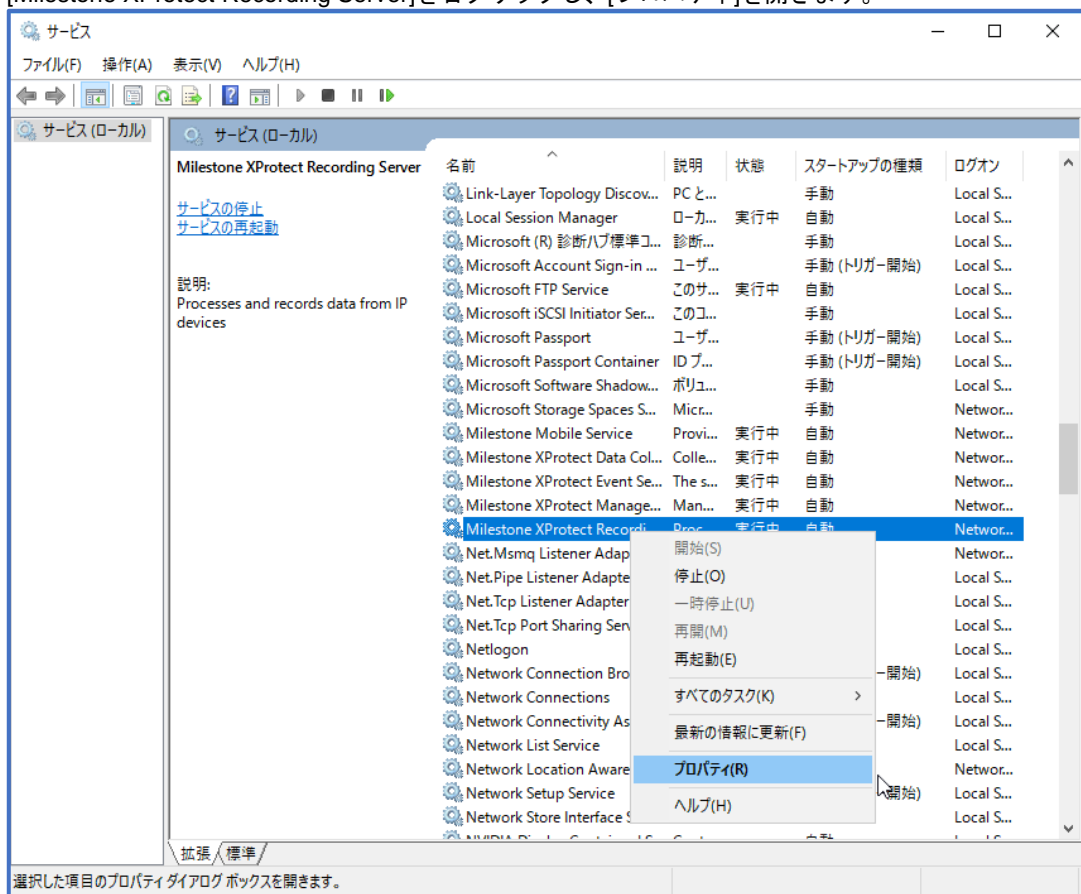
ここでは NAS などのネットワークドライブをアーカイブ先に指定する方法を説明します。

事前に NAS 側で共有フォルダを作成しておく必要があります。

- ドメインを使用している場合
  1. 本装置と NAS の両方にアクセス可能なドメインアカウントを作成します。
  2. 本装置にて作成したドメインアカウントにローカル管理者権限を付与します。
  3. NAS にて作成したドメインアカウントにローカル管理者権限を付与します。
- WORKGROUP ユーザーの場合
  1. 本装置でローカル管理者アカウントを作成します。(Administrator アカウントも可)
  2. NAS にて手順 1 で設定したローカル管理者アカウントと同じユーザー名、パスワードのローカル管理者アカウントを作成します。

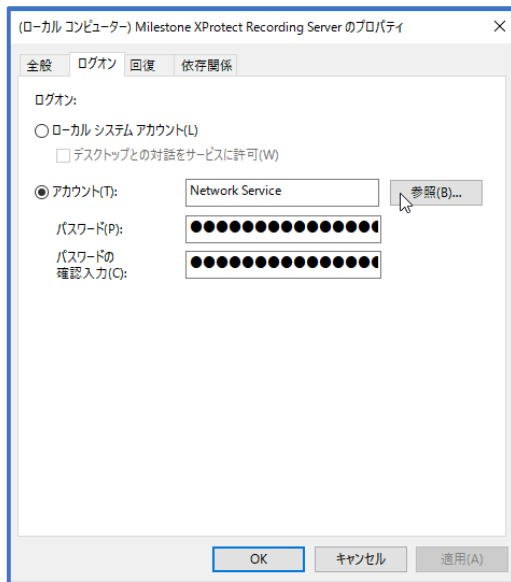
以下は共通の手順です。WORKGROUP ユーザーの Administrator アカウントを使用した例を説明します。

1. 本装置にて[スタートメニュー]-[Windows 管理ツール]-[サービス]を開きます。
2. [Milestone XProtect Recording Server]を右クリックし、[プロパティ]を開きます。

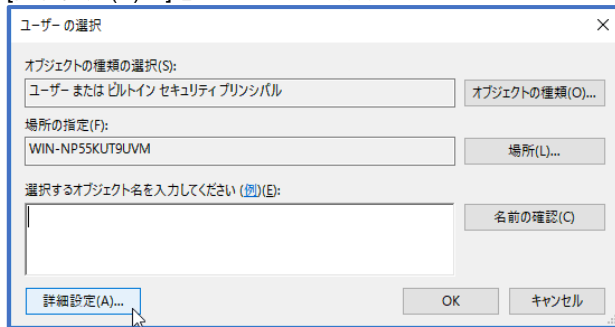


3. [ログオン]タブを選択し、[参照(B)...]をクリックします。

## 付録6 VMS のネットワークドライブヘアーカイク設定をする



4. [詳細設定(A)...]をクリックします。

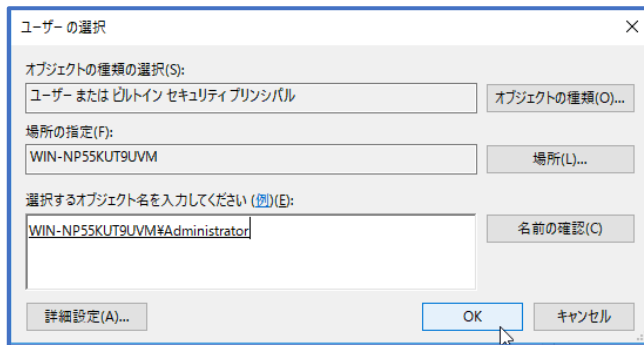


5. [検索(N)]をクリックし、検索結果から[Administrator]を選択後[OK]をクリックします。

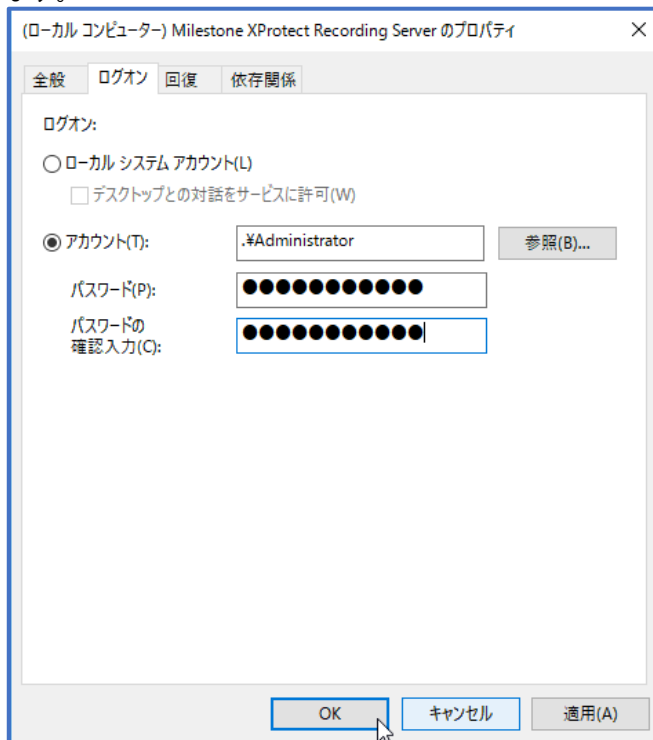


6. そのまま[OK]をクリックします。

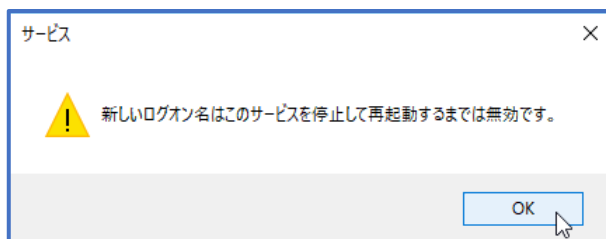
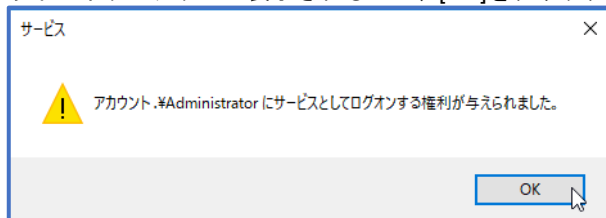
## 付録6 VMS のネットワークドライブヘアーカイク設定をする



7. アカウント(T): に「.¥Administrator」と入力されていることを確認します。  
続いてパスワード(P):、パスワードの確認入力(C):に Administrator アカウントのパスワードを入力します。

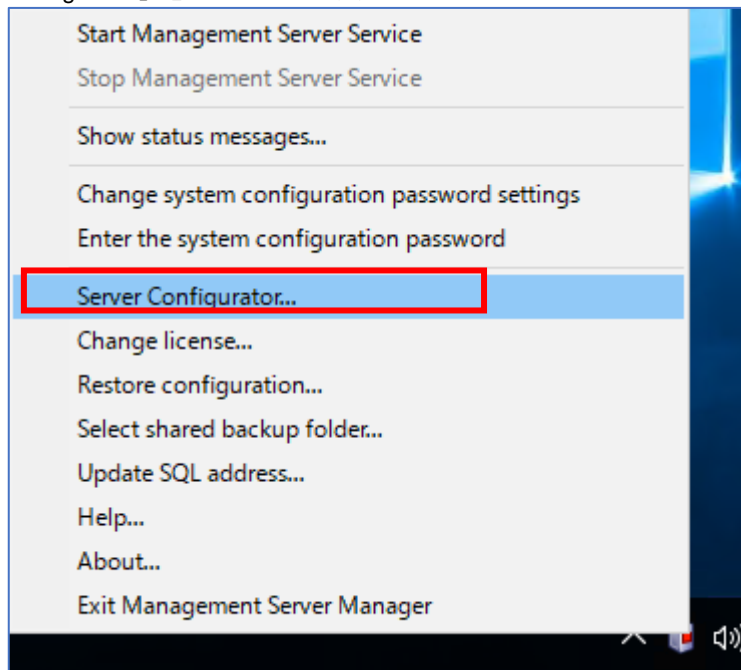


8. 以下のポップアップが表示されるので、[OK]をクリックします。



## 付録6 VMS のネットワークドライブヘアーカイク設定をする

9. 右下のタスクトレイから Milestone XProtect Management Server を右クリックし「Server Configurator」をクリックします。

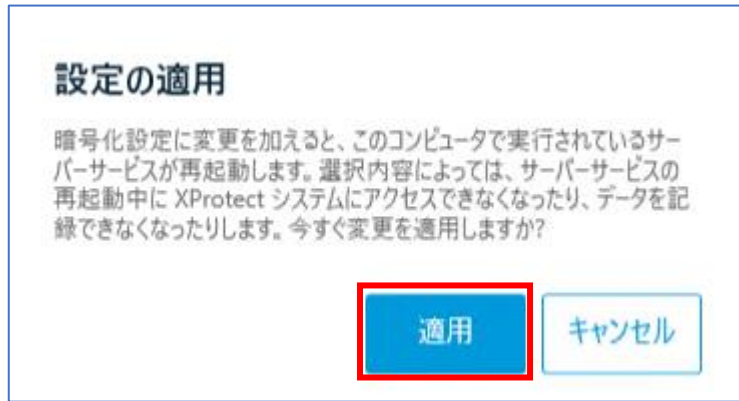


10. 「適用」をクリックします。

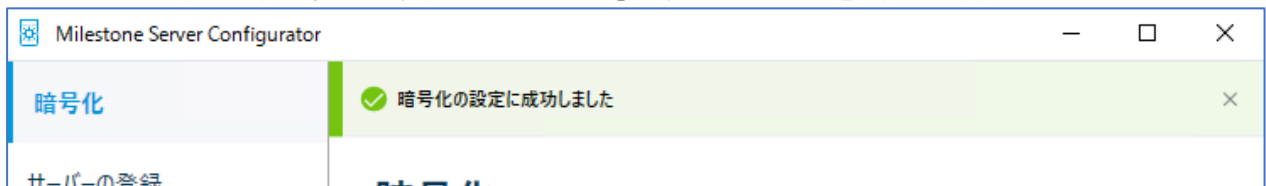


## 付録6 VMS のネットワークドライブヘアーカイク設定をする

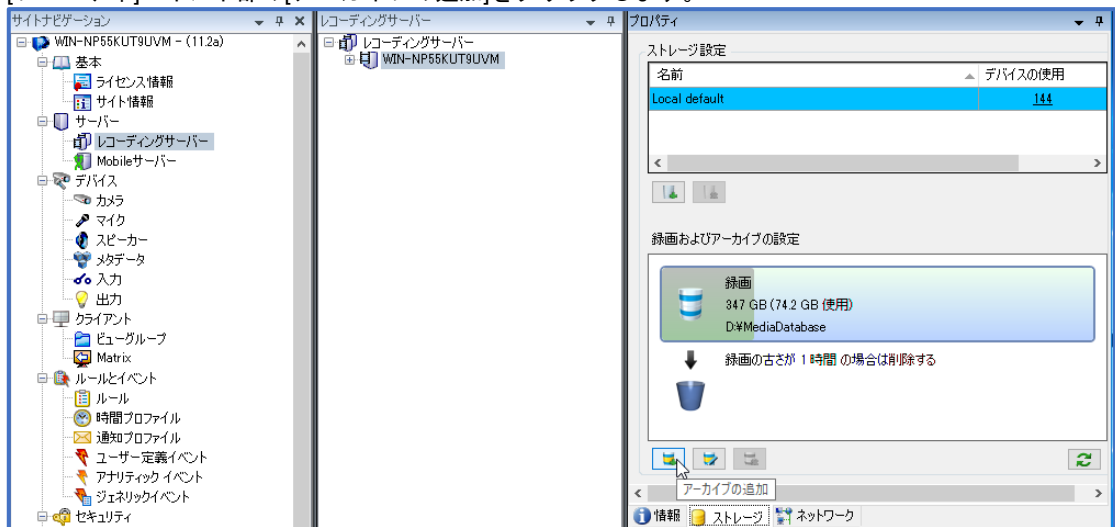
11. 確認画面で「適用」をクリックします。



12. 適用完了後、「暗号化の設定に成功しました」と表示されたことを確認します。



13. Management Client の[サイトナビゲーション]ペインから[レコーディングサーバー]をクリックし、[レコーディングサーバー]ペインを開きます。
14. レコーディングサーバーを選択し、[プロパティ]ペインの[ストレージ]タブを選択します。
15. [プロパティ]ペイン下部の[アーカイブの追加]をクリックします。



16. アーカイブ設定を入力し、[OK]をクリックします。

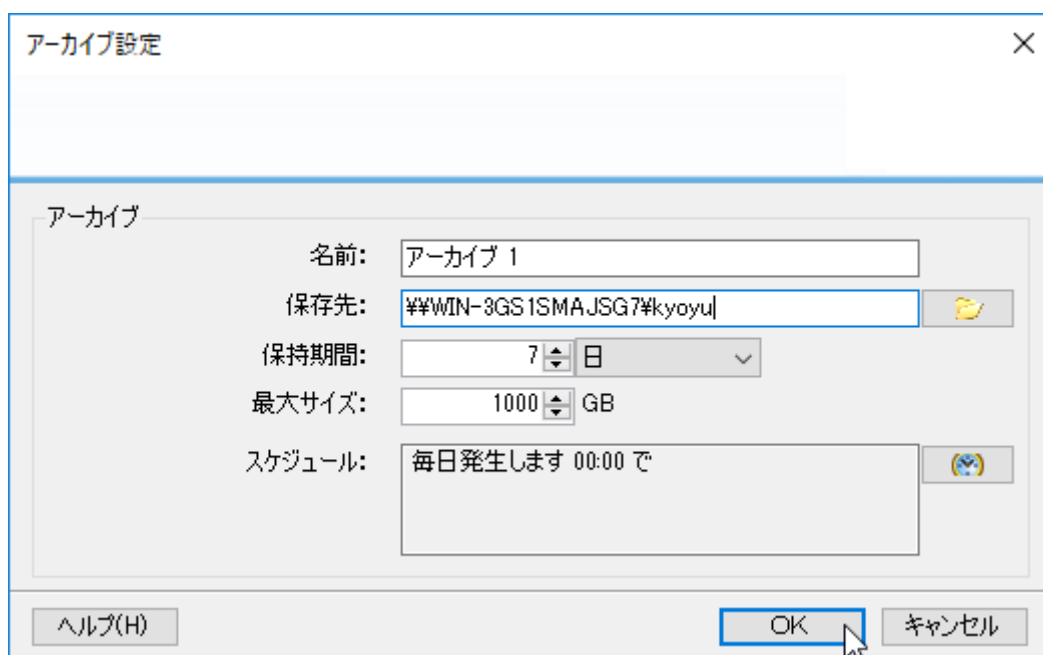
名前: 任意の名前

保存先: ¥¥[アーカイブ先のコンピュータ名]¥¥[共有フォルダ]

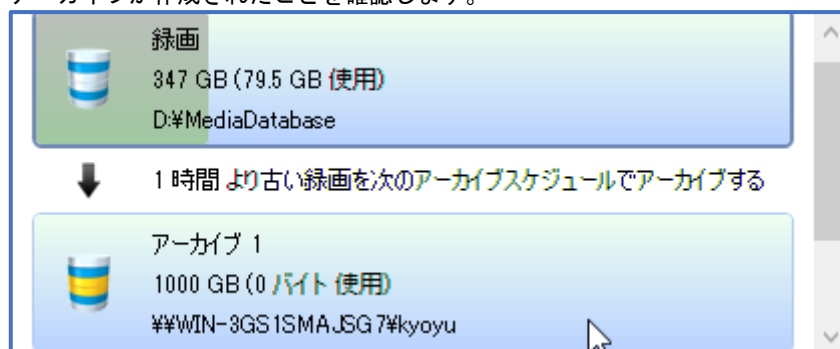
保持期間: 任意の期間

最大サイズ: 任意のサイズ

スケジュール: 任意の設定 (動きの少ない時間帯に一日数回アーカイブすることを推奨します)



17. アーカイブが作成されたことを確認します。



以上でアーカイブの設定は完了です。

## 付録7. VMS のライセンスの再アクティベーションをする

再セットアップ後にビデオマネジメントソフトウェア(Milestone XProtect Express+)を使用するためにはライセンスの再アクティベーションが必要となる場合があります。

### 付7.1 OS 再インストール前に 2.4.1 または 2.4.2 の手順でライセンスアクティベーションを実施した場合

A) ライセンスファイル(Mxx-xxx-xxx-xx-xxxxxx.lic)がある

バックアップしてあるライセンスファイルを「付録2 VMS を追加インストールする」で使用してください。



装置情報収集ユーティリティによるログ（Collect ログ）を採取してある場合は、Collect.zip 内の「log\EdgeServerLog\VMSlog」フォルダにライセンスファイルが格納されています。

「2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ」後、「2.4 ライセンスアクティベーション」を再度実施してください。

B) ライセンスファイル(Mxx-xxx-xxx-xx-xxxxxx.lic)がない

E-mail にてライセンスファイルの再発行を依頼してください。

依頼メールが NEC に到着後、5 営業日以内に電子メールにてご連絡致します。

E-mail の内容は、下記の通り記載お願いします。

メール件名 : [依頼][VMS]OS 再インストールのライセンス再発行

送付先 E- [iot-edge-license@itpf.jp.nec.com](mailto:iot-edge-license@itpf.jp.nec.com) mail :

本文内容…必ず下記項目をご記入ください。

装置型番 :

装置シリアルナンバー :

お客様社名/所属 :

お客様ご担当者名 :

連絡先電話番号 :

再発行ライセンス受け取り E-mail アドレス :

※E-mail アドレスはお間違いの無いようにご確認の上、送付お願いします。

送付された lic ファイルを「付録2 VMS を追加インストールする」で使用してください。

「2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ」後、「2.4 ライセンスアクティベーション」を再度実施してください。

## 付7.2 OS 再インストール前に 2.4.3 または 2.4.4 の手順でライセンスアクティベーションを実施した場合

2.4.3 または 2.4.4 の手順中にメールで送付された lic ファイルを「付録2 VMS を追加インストールする」で使用してください。この場合、「2.3 ビデオマネジメントシステムの初期セットアップ」後の「2.4 ライセンスアクティベーション」の作業は不要です。

NEC Express サーバ

Express5800/T110m-S  
映像アプライアンスベースモデル  
セットアップガイド（VMS 編）

2024 年 12 月  
日 本 電 気 株 式 会 社  
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111（大代表）

落丁、乱丁はお取り替えいたします

© NEC Corporation 2024

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。